EPSON

EMP-74/54
取扱説明書



説明書中の表示の意味

安全に関する表示

取扱説明書および製品には、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、絵表示が使われています。
その表示と意味は次のとおりです。内容をよくご理解いただいた上で本文をお読みください。

⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

一般情報に関する表示

注意	本機の故障や損傷の原因になるおそれがある内容を示しています。
ポイント	関連する情報や知っておくと便利な情報を記載しています。
☛	関連事項や、より詳しい説明を記載しているページを示しています。
▶▶	マークの前のアンダーラインの引かれた用語は、用語解説で説明しています。「付録　用語解説」をご覧ください。 ☛ p. 91
操作	操作方法や作業の順番を示しています。 番号順に操作して目的の作業を行ってください。
[（表記名）]	リモコン、またはプロジェクター本体の入出力端子や操作パネルのボタン名称を示しています。 例：［戻る］ボタン、[音声入力1]端子
「（メニュー名）」	環境設定メニューの項目を示しています。 例：「映像」→「明るさ」

「本機」または「本プロジェクター」という表記について

本書の中に出てくる「本機」または「本プロジェクター」という表記には、プロジェクター本体のほかに同梱品や別売品も含まれる場合があります。

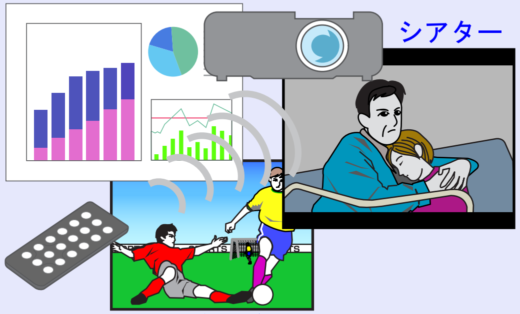
本機の特長

カラーモード機能

あらかじめ登録されている次の6つの設定から、使用シーンに応じて画質の選択をするだけで最適な映像が投写できます。
また、学校などで、スクリーンの代わりに黒板を使って投写する場合には、「黒板」を選択すると、自然な色合いで投写できます。
面倒なカラー調整は不要です。

☛ p. 43, 51, 53

- ダイナミック
- プレゼンテーション
- シアター
- リビング
- sRGB
- 黒板



輝度切替

ランプの明るさを2段階で切り替えることができます。暗い部屋で投写したり、小さなスクリーンに映す場合など、映像が明るすぎるときは「低輝度」に設定します。
また、「低輝度」に切り替えると、消費電力や騒音が減り、ランプの寿命が延びるといったメリットもあります。

- 消費電力　約20%削減
- 騒音　約10%削減
- ランプ寿命　約1.5倍

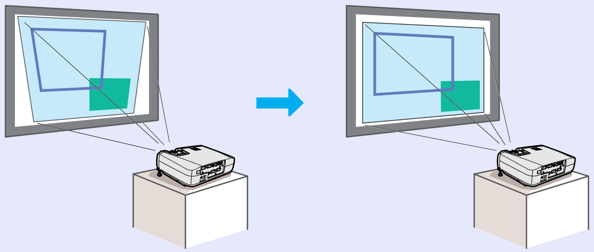
☛ p. 59



自動台形補正機能

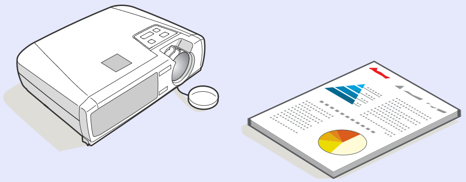
本機の上下方向の傾きを感知し、自動的に投写映像が台形にゆがむのを補正します。

☛ p. 37



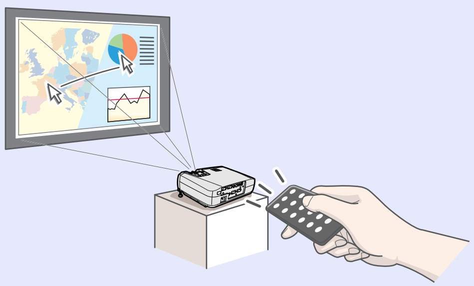
小型で軽量ながらも美しく鮮明な映像

持ち運びも楽々なA4ファイルサイズ(奥行き24×幅31.5×高さ8.7cm)、軽量(約2.9kg)と小型ながら、高解像度、高輝度による見やすい画面を実現。
明るい場所でも、美しく鮮やかな映像を映し出せます。



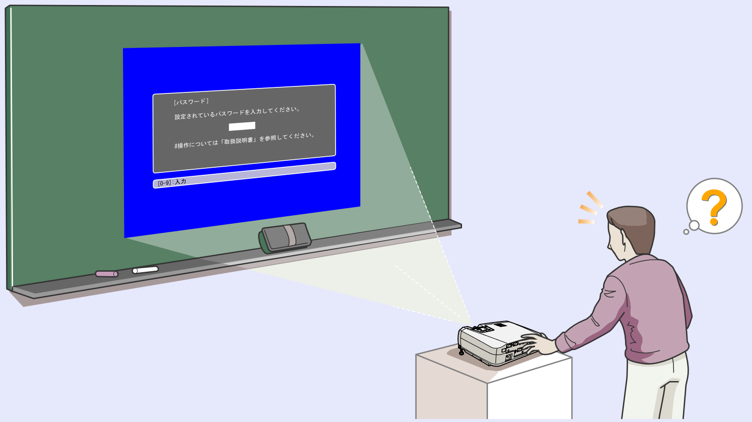
操作が簡単

同梱のリモコンを使い、投写映像を停止する(静止機能 ☛ p. 46)、大切な部分をズームアップする(E ズーム機能 ☛ p. 48)などの操作ができます。
投写中のコンピュータ画面上のポインタ操作も、リモコンで行えます(ワイヤレスマウス機能 ☛ p. 19)。ワイヤレスマウス機能を使うと、PowerPointの文書をプレゼンテーションするとき、リモコンで次ページ送り、前ページ戻しが行えます。



パスワードプロテクト機能で利用者の管理や盗難防止

パスワードプロテクト機能を使うと、パスワードでプロジェクターの使用や設定変更を制限することができます。その結果、持ち出しても使用できないため、盗難防止に役立ちます。
☛ p. 27



困ったときに

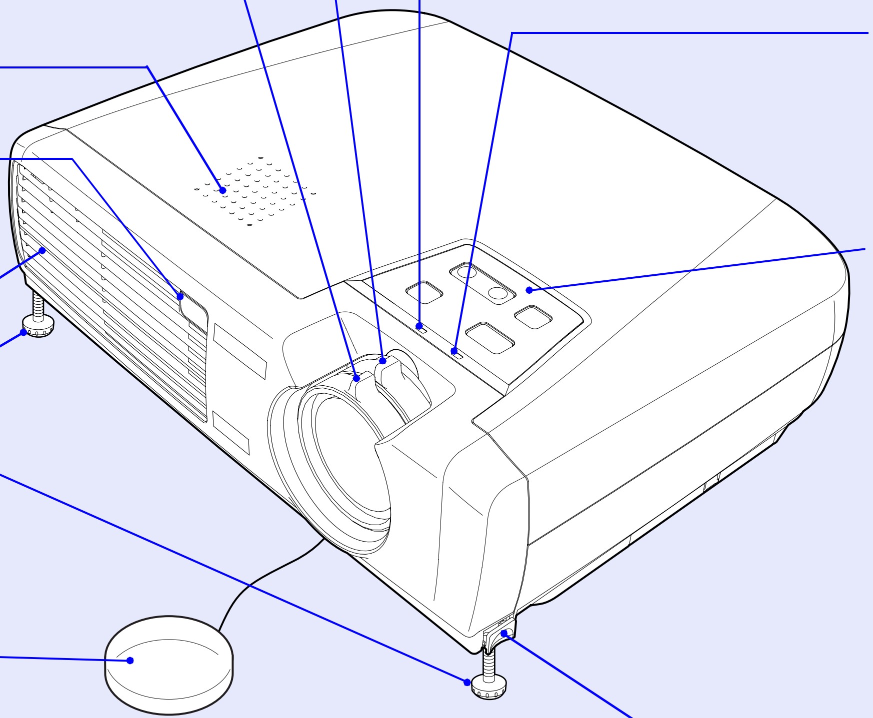
付　録

使い始めるまでの準備

この章では、開梱後、本機を設置し、使い始めるまでの作業について説明しています。

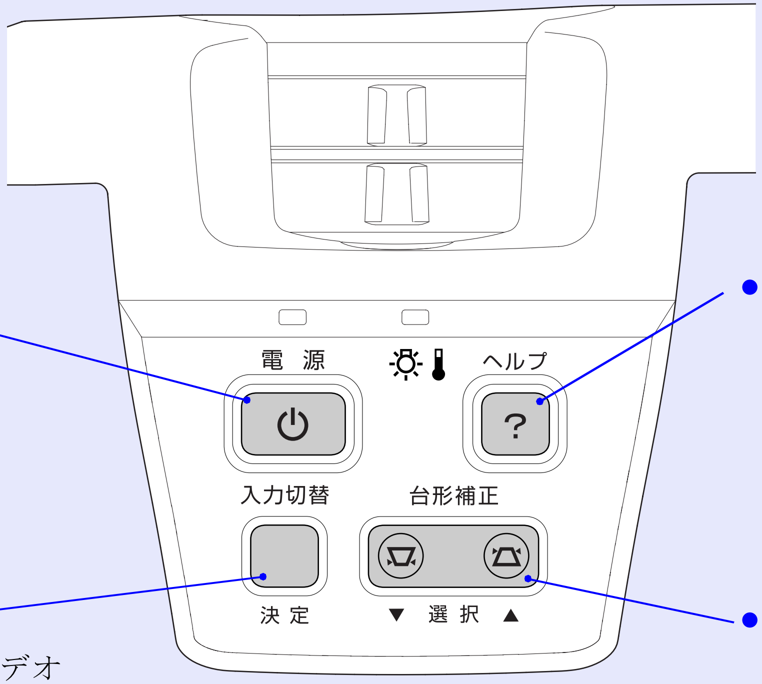
各部の名称と働き

前面/上面



- **ズームリング** ☛ p. 36
  投写映像のサイズを調整します。
- **フォーカスリング** ☛ p. 36
  投写映像の焦点を合わせます。
- **スピーカ**
- **リモコン受光部** ☛ p. 12
  リモコン信号を受信します。
- **排気口**
- **フロントフット** ☛ p. 37
  机上などに置いて使う場合に、投写角度を調整するときに伸ばします。
- **レンズカバー**
  プロジェクターを使用しないときに装着し、レンズが傷ついたり汚れたりするのを防ぎます。
- **☼🌡(異常/警告)インジケータ** ☛ p. 69
  本機に発生した異常を、色や点滅･点灯状態で示します。
- **電源インジケータ** ☛ p. 68
  本機の動作状態を色や点滅･点灯状態で示します。
- **本体操作パネル** ☛ p. 8
- **フットボタン** ☛ p. 37
  右側面にも同様にフットボタンがあります。フロントフットを伸縮させるときに、両側のフットボタンを押します。

本体操作パネル



- [電源]ボタン ☛ p. 32, 34
  電源をオン/オフします。

- [ヘルプ]ボタン ☛ p. 66
  押すたびに、トラブルが起こった場合の対処方法を示すヘルプを表示/終了します。

- [入力切替]ボタン ☛ p. 33
  押すたびに[コンピュータ1/コンポーネントビデオ1]端子→[コンピュータ2/コンポーネントビデオ2]端子→[S-ビデオ]端子→[ビデオ]端子の順で映像ソースを切り替えます。
  ヘルプメニュー表示中は、項目の決定ボタンとして使います。☛ p. 66

- [台形補正]ボタン ☛ p. 39
  台形補正するときに押します。
  ヘルプメニュー表示中は、項目の選択ボタンとして使います。☛ p. 66

背面

- **[コンピュータ1/コンポーネントビデオ1]端子**
- **[コンピュータ2/コンポーネントビデオ2]端子**
  ☛ p. 17, 23, 24
  コンピュータのアナログRGB映像信号やビデオ機器のRGBビデオ信号、コンポーネントビデオ▸▸信号を入力します。

- **[S-ビデオ]端子 ☛ p. 22**
  ビデオ機器のS-ビデオ▸▸信号を入力します。

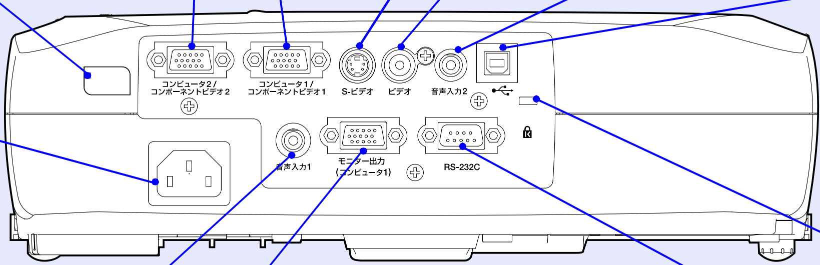
- **[ビデオ]端子 ☛ p. 22**
  ビデオ機器のコンポジットビデオ▸▸信号を入力します。

- **リモコン受光部 ☛ p. 12**
  リモコン信号を受信します。

- **[音声入力2]端子 ☛ p. 25**
  ビデオ機器の音声信号を入力します。

- **[USB]端子 ☛ p. 19, 94**
  ワイヤレスマウス機能時に、USBケーブルでコンピュータと接続します。
  USBケーブルでコンピュータと接続しても、コンピュータの映像を投写することはできません。

- **電源端子 ☛ p. 31**
  電源ケーブルを接続します。



- **[音声入力1]端子 ☛ p. 25**
  コンピュータやRGBビデオ、コンポーネントビデオ機器の音声信号を入力します。

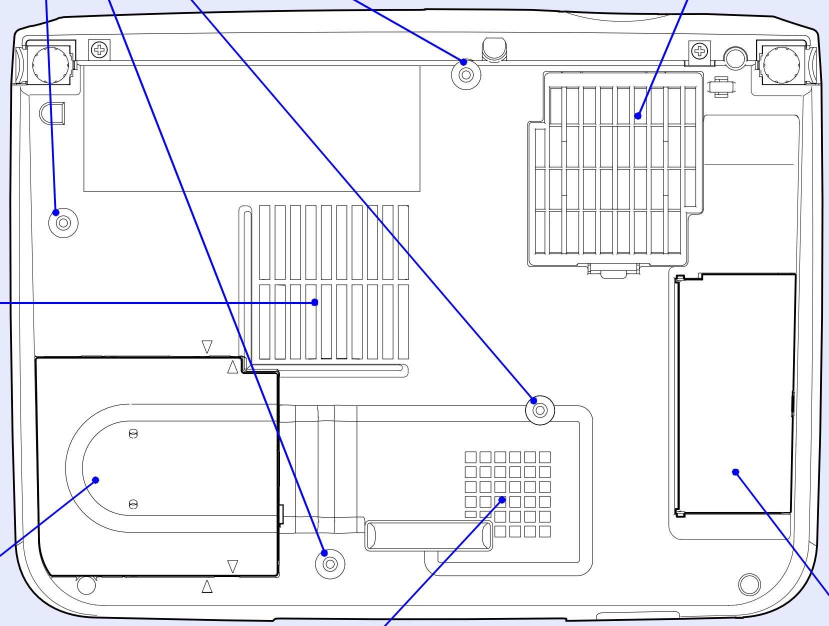
- **盗難防止用ロック (🔒) ☛ p. 92**

- **[RS-232C]端子 ☛ p. 94**
  RS-232Cケーブルでコンピュータと接続します。制御用の端子で通常は使用しません。

- **[モニター出力]端子 ☛ p. 21**
  [コンピュータ1/コンポーネントビデオ1]端子に接続して投写しているコンピュータのアナログRGB映像やRGBビデオ映像の信号を外部モニターに出力します。ビデオ機器の信号には対応していません。

底面

- 天吊固定部(4箇所) ☛ p. 14, 99
  天井から吊り下げて使うとき、オプションの天吊り金具を取り付けます。
- エアーフィルタ(吸気口) ☛ p. 80, 86
  吸気時に、本機内部にホコリやゴミが入るのを防ぎます。定期的に掃除、交換してください。
- 吸気口 ☛ p. 80



- ランプカバー ☛ p. 83
  ランプの交換時にこのカバーを開けて、中のランプを交換します。
- 吸気口 ☛ p. 80
  定期的に掃除してください。
- リモコンホルダ ☛ p. 12
  同梱のリモコンを使用しないときは、ここに収納します。

リモコン

- リモコン発光部 ☛ p. 12

  リモコン信号を出力します。

- [ページ送り][ページ戻し]ボタン ☛ p. 19

  ワイヤレスマウス機能時は、このボタンを押して PowerPointファイルのページ送り/戻しができます。

- [入力切替]ボタン ☛ p. 33

  [コンピュータ1/2]：
  [コンピュータ1/コンポーネントビデオ1]端子または、[コンピュータ2/コンポーネントビデオ2]端子からの映像に切り替えます。
  [S-ビデオ/ビデオ]：
  [S-ビデオ]端子または[ビデオ]端子からの映像に切り替えます。

- [メニュー]ボタン ☛ p. 63

  押すたびに環境設定メニューを表示/終了します。

- [Eズーム]ボタン(⊖) ☛ p. 48

  [⊕]ボタンで拡大した結果を縮小します。

- [▲][▼][◄][►]ボタン ☛ p. 20, 63, 66

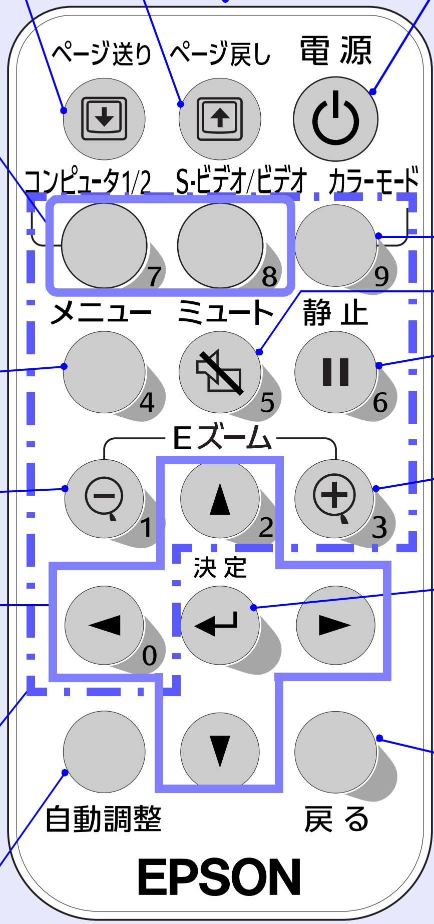
  環境設定メニューやヘルプが表示されているときは、メニュー項目や設定値の選択を行います。
  ワイヤレスマウス機能時は、ボタンを押すと各ボタンに対応した方向にポインタが移動します。

- [テンキー]ボタン ☛ p. 27

  パスワードプロテクト時にパスワードを入力するときに使います。

- [自動調整]ボタン ☛ p. 40

  コンピュータのアナログRGB映像やRGBビデオ映像を自動調整し、最適化します。



- [電源]ボタン ☛ p. 32, 34

  プロジェクターの電源をオン/オフします。

- [カラーモード]ボタン ☛ p. 43

  カラーモードを切り替えます。押すたびに、ダイナミック→プレゼンテーション→シアター→リビング→sRGB→→黒板の順で切り替わります。

- [ミュート]ボタン ☛ p. 45

  押すたびに映像と音声を一時的に消す/解除します。

- [静止]ボタン ☛ p. 46

  押すたびに映像を一時停止/解除します。

- [Eズーム]ボタン(⊕) ☛ p. 48

  投写サイズを変えずに、映像を拡大します。

- [決定]ボタン ☛ p. 20, 63, 66

  環境設定メニューやヘルプの項目を決定したり、1つ下の階層に進みます。ワイヤレスマウス機能時は、マウスの左クリックとして機能します。

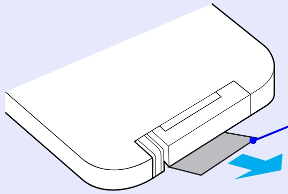
- [戻る]ボタン ☛ p. 20, 64

  実行中の機能を終了します。環境設定メニュー表示時には1つ上の階層に戻ります。
  ワイヤレスマウス機能時は、マウスの右クリックとして機能します。

リモコンをお使いになる前に

リモコンの使い方と操作範囲

初めてお使いになるときは、電池ホルダから出ている絶縁テープを引き抜いてください。絶縁テープを引き抜くと、リモコンが使えるようになります。

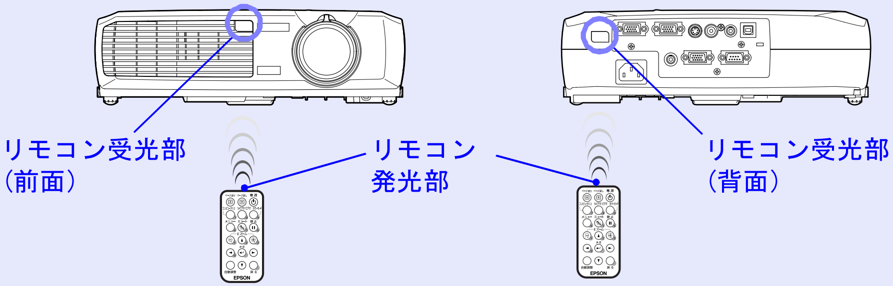


使い方

リモコンの使い方は次のとおりです。

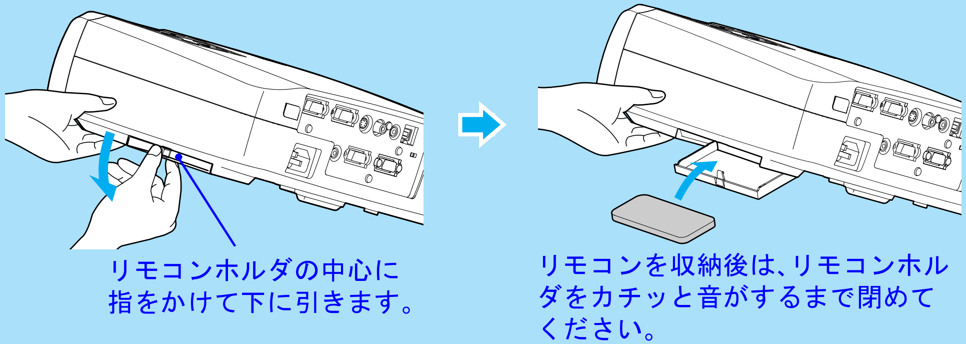
操作

リモコンの発光部をプロジェクターのリモコン受光部に向けて操作します。



ポイント

- プロジェクターのリモコン受光部に直射日光や蛍光灯の光などが直接当たらないようにしてください。リモコンからの信号を受信できないことがあります。
- 使い続けているうちに、リモコンの反応が遅くなったり、操作できなくなった場合は電池の寿命が考えられます。新しい電池と交換してください。 ☛ p. 81
- リモコンを使わないときは、リモコンの紛失を防ぐために本体底面のリモコンホルダに収納してください。

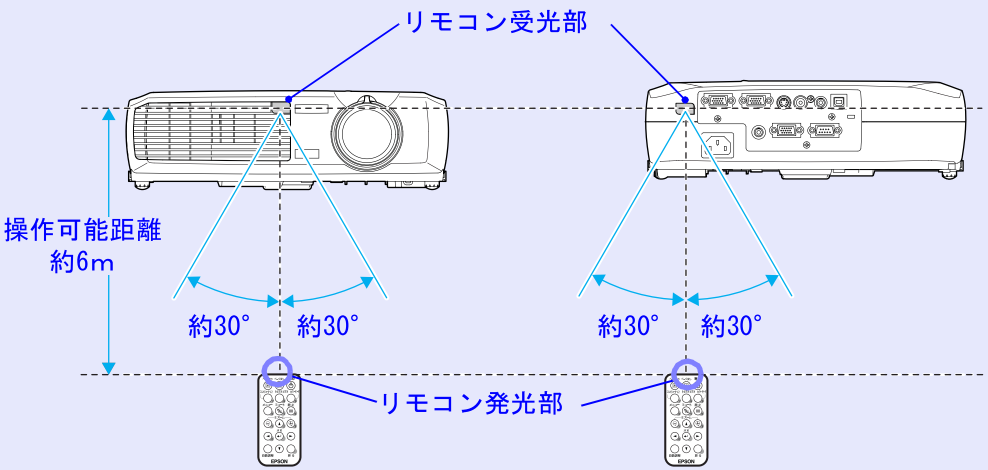


操作範囲

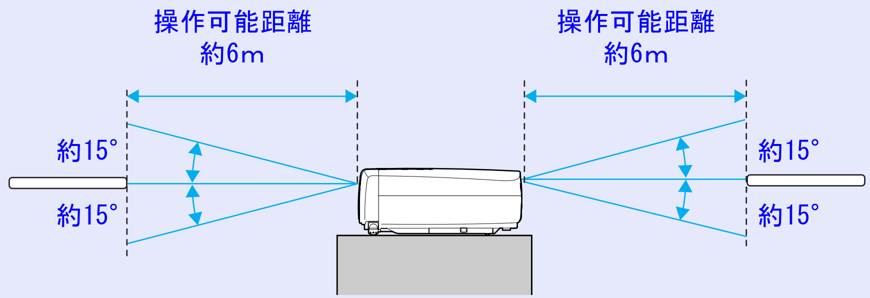
リモコンで操作する場合は、次の範囲でお使いください。受光部との距離や角度が操作可能範囲を外れると、リモコン操作が働きません。

操作可能距離	操作可能範囲
約6m	左右約30° 上下約15°

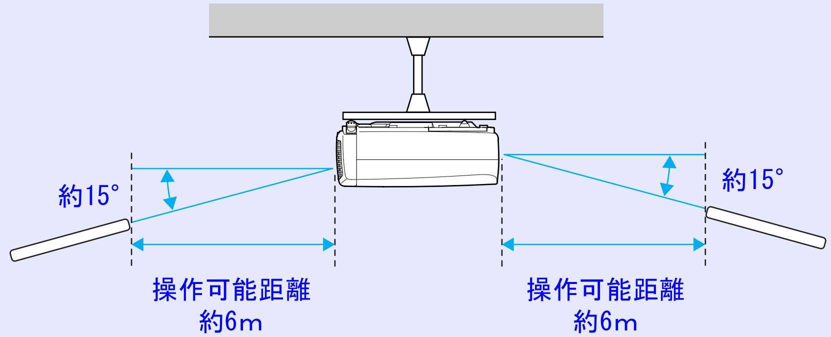
操作範囲(左右)



操作範囲(上下)



天吊りの場合

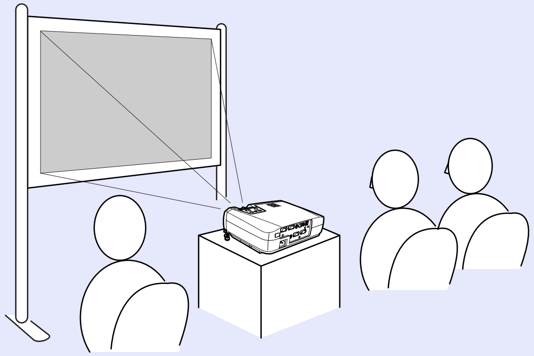


設置方法

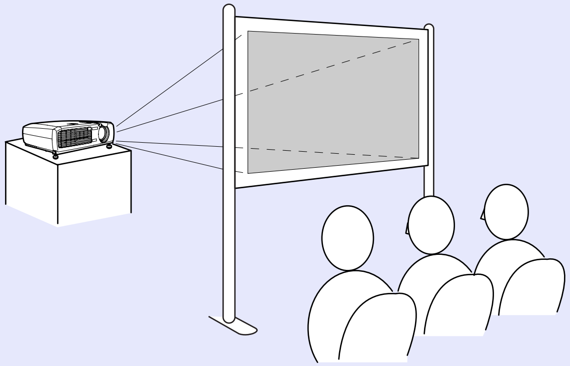
本機の投写方法は、次の4種類があります。設置場所の条件に合わせて設置してください。

注意 設置にあたっては、別冊の『安全にお使いいただくために/サポートとサービスのご案内』を必ずお読みください。

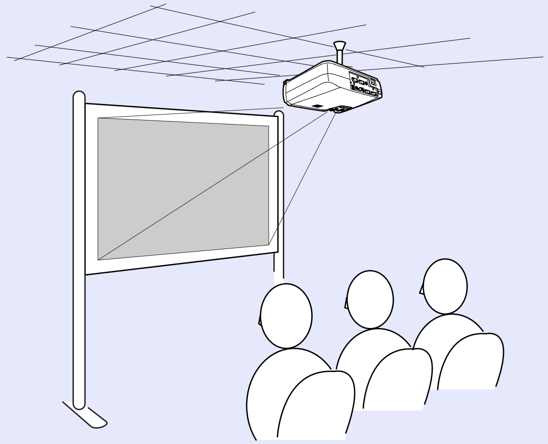
- 正面から投写する（フロント投写）



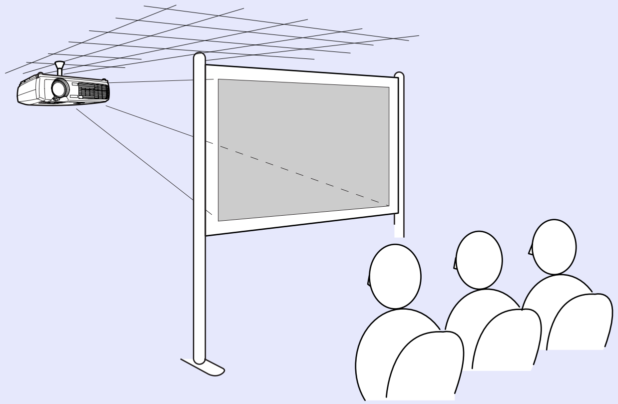
- リアスクリーンへ裏側から投写する（リア投写）



- 天吊りして正面から投写する（フロント・天吊り投写）



- 天吊りしてリアスクリーンへ裏側から投写する（リア・天吊り投写）



※天吊り（天井への取り付け）は特別な技術が必要です。天吊りで使用する場合は販売店にご相談ください。天吊りするには、オプションの天吊り金具が必要です。 ☛ p. 90

ポイント

天吊りやスクリーンの裏側から投写するときは、環境設定メニューの「高度な設定」→「設置モード」を設置の状態に合わせて変更します。 ☛ p. 60

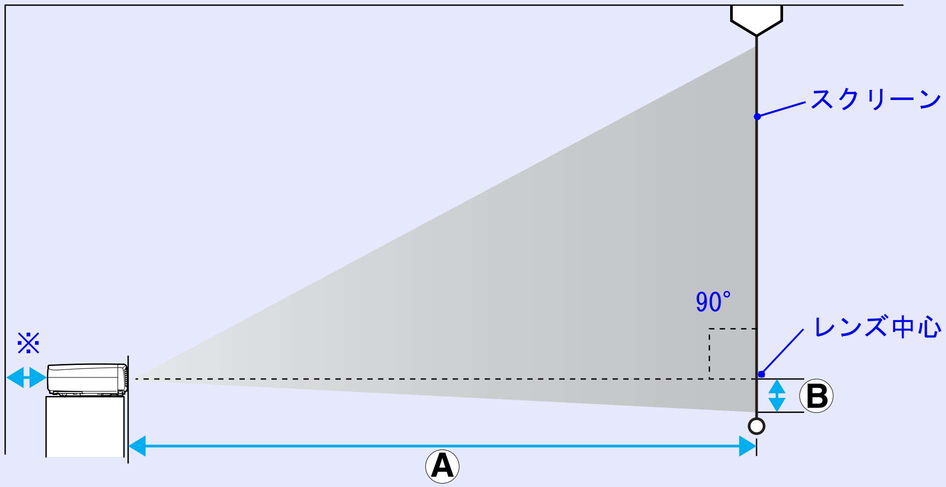
スクリーンサイズと投写距離

本機のレンズからスクリーンまでの距離により投写映像サイズが異なります。

推奨距離範囲	89cm〜1050cm

次表を参考にして、スクリーンに映像が最適な大きさで映るように設置してください。
値は、設置の目安にしてください。投写条件やズームの設定により、変わります。

4:3スクリーンサイズ（cm）	投写距離Ⓐ（cm）		レンズ中心からスクリーン下端までの高さⒷ（cm）
	最短（ワイド）	最長（テレ）	
30型（61×46）	89	103	4
40型（81×61）	120	138	6
50型（100×76）	151	173	7
60型（120×90）	181	208	8
80型（160×120）	243	278	11
100型（200×150）	304	349	14
200型（410×300）	610	699	28
300型（610×460）	916	1050	42



※壁際に設置する場合は、壁から 20cm 以上の間隔をあけてください。

ポイント

- 本機のレンズは約 1.2 倍ズームです。最大拡大時は、最小時の約1.2倍のサイズで投写できます。
- 台形補正をすると、画面サイズは小さくなります。

注意 コンピュータと接続する際は、次の点を確認してください。

- 接続する前に本機とコンピュータの電源を切ってください。電源が入った状態で接続すると、故障の原因になります。
- ケーブルのコネクタ形状と端子の形状を確認して接続してください。向きや形状が異なっているものを無理に押し込むと故障や機器の破損の原因になります。
- 電源ケーブルと接続ケーブルは一緒に結束しないでください。映像にノイズが現れたり、誤作動の原因になります。

接続できるコンピュータ

コンピュータによっては接続できないものや、接続できても投写できないものがあります。以下の、接続できるコンピュータの条件と照らし合わせて確認してください。

- 条件1：接続するコンピュータに映像信号の出力端子があること
  コンピュータに「RGB端子」「モニター端子」「CRT端子」などの映像信号を出力させる端子があることを確認してください。
  コンピュータとモニターが一体型のタイプやノートパソコンなどの場合は、接続できなかったり外部出力端子を別途購入する必要があるものがあります。詳しくは、コンピュータの取扱説明書の「外付けのモニターを接続する」などの項目をご覧ください。

- 条件2：接続するコンピュータの解像度と周波数が「対応解像度一覧」の範囲内であること ☛ p. 96「付録 対応解像度一覧」
  コンピュータによっては出力解像度を変更できますので、コンピュータの取扱説明書をご覧になり対応解像度一覧の範囲内の設定に変更してください。

ポイント

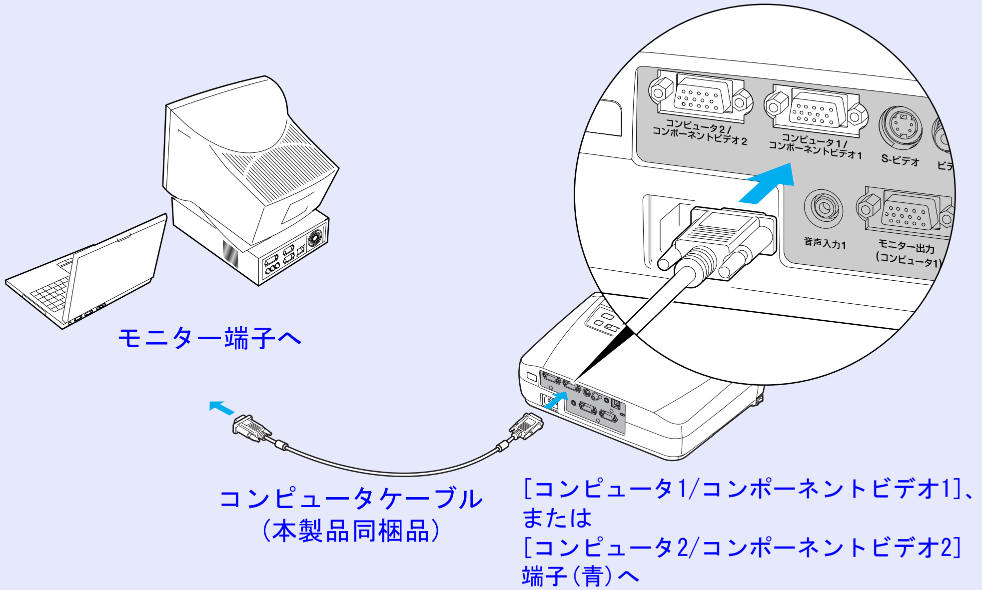
- コンピュータの端子形状によっては、接続の際に市販のアダプタ類などが必要になることがあります。詳しくはコンピュータの取扱説明書をご覧ください。
- コンピュータと本機が離れて設置されており、同梱のコンピュータケーブルでは届かないときは、オプションのコンピュータケーブルをお使いください。 ☛「付録 オプション一覧」p. 90

コンピュータの映像を映す

コンピュータのモニター端子の形状や規格により、使用するケーブルが異なります。お使いになるコンピュータに合わせて、以降の内容をお読みください。

モニター端子がミニD-Sub 15pin端子の場合

同梱のコンピュータケーブルを使って接続します。

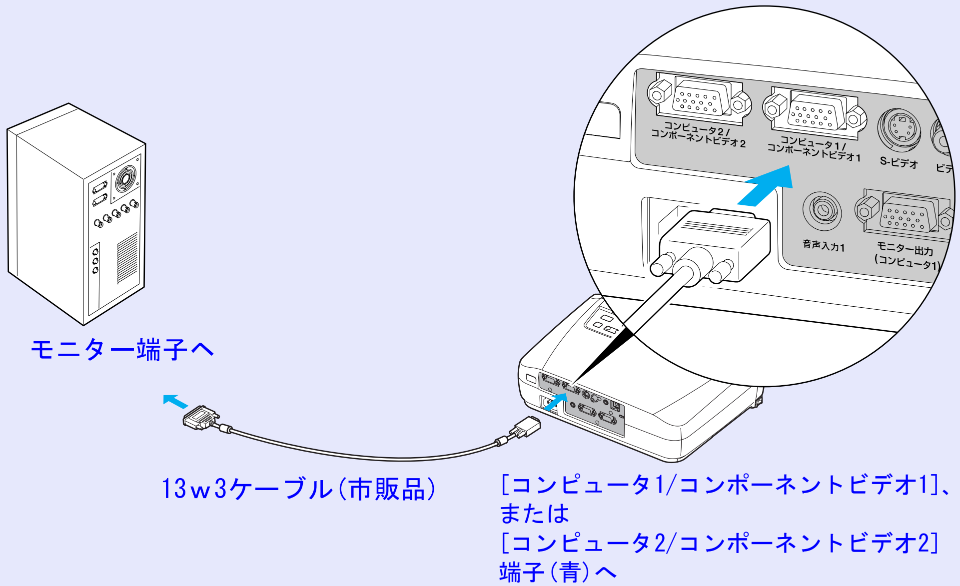


ポイント

- 投写開始後は、接続した端子に応じて、環境設定メニューの「映像」→「入力信号」で「コンピュータ1」、または「コンピュータ2」に設定します。 ☛ p. 51
- 本機に複数の機器を同時に接続して使用する場合は、投写開始後、リモコンの[コンピュータ1/2]ボタン、または本体の[入力切替]ボタンを押して投写する信号を選択します。 ☛ p. 33

モニター端子が13w3端子の場合

ワークステーション対応のコンピュータでは、モニター端子が13w3端子の場合があります。
この場合は、市販の13w3⇔D-Sub15ケーブルを使って接続します。



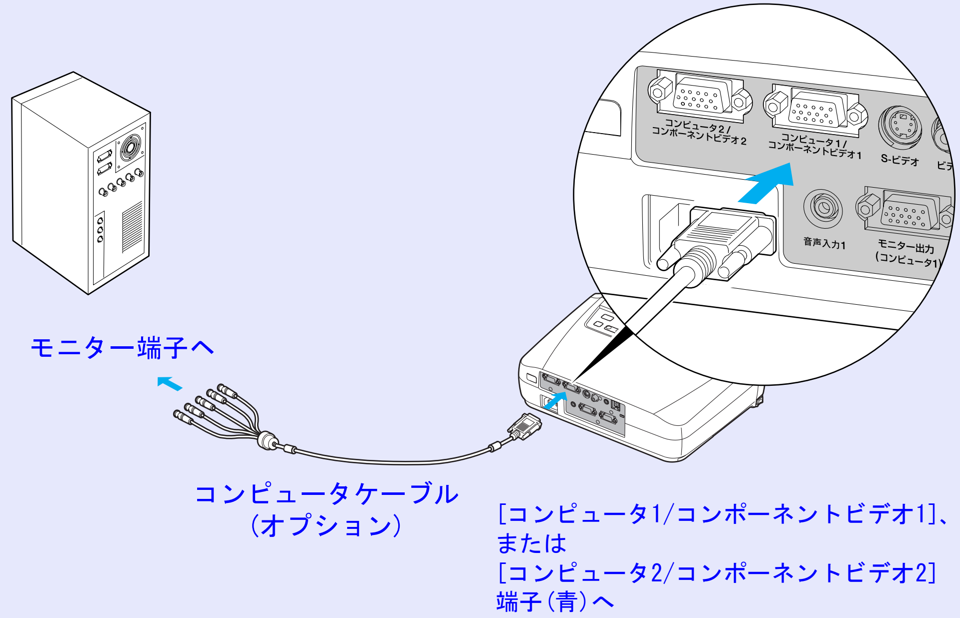
ポイント

- 投写開始後は、接続した端子に応じて、環境設定メニューの「映像」→「入力信号」で「コンピュータ1」、または「コンピュータ2」に設定します。 ☛ p. 51
- 本機に複数の機器を同時に接続して使用する場合は、投写開始後、リモコンの[コンピュータ1/2]ボタン、または本体の[入力切替]ボタンを押して投写する信号を選択します。 ☛ p. 33
- ワークステーションによっては、専用ケーブルが必要な場合があります。詳しくは、お使いのワークステーションのメーカーに確認してください。

モニター端子が5BNC端子の場合

オプションのコンピュータケーブルを使って接続します。

☛「付録　オプション品一覧」p. 90



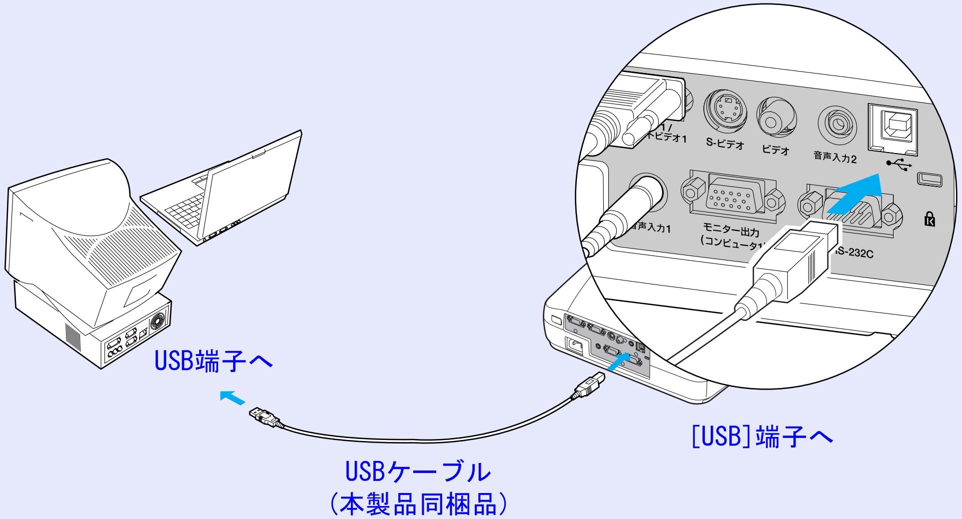
ポイント

- 投写開始後は、接続した端子に応じて、環境設定メニューの「映像」→「入力信号」で「コンピュータ1」、または「コンピュータ2」に設定します。 ☛ p. 51
- 本機に複数の機器を同時に接続して使用する場合は、投写開始後、リモコンの[コンピュータ1/2]ボタン、または本体の[入力切替]ボタンを押して投写する信号を選択します。 ☛ p. 33

リモコンでマウスポインタを操作する（ワイヤレスマウス機能）

コンピュータのUSB端子と、本機背面のUSB端子を同梱のUSBケーブルで接続すると、ワイヤレスマウスのように、同梱のリモコンでコンピュータのマウスポインタを操作できます。

対応コンピュータ	マウスの種類	使用するケーブル
Windows 98/2000/Me/ XP Home Edition/ XP Professional	USBマウス	USBケーブル (同梱品)
Macintosh (OS 8.6～9.2/10.0～10.2)	USBマウス	USBケーブル (同梱品)



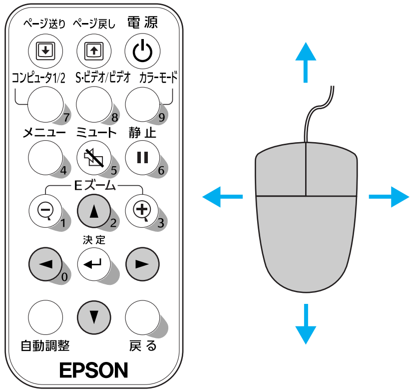
※ワイヤレスマウスとして使用しているときは、リモコンの［ページ送り］［ページ戻し］ボタンで、PowerPointファイルのページ送り/戻しができます。

ポイント

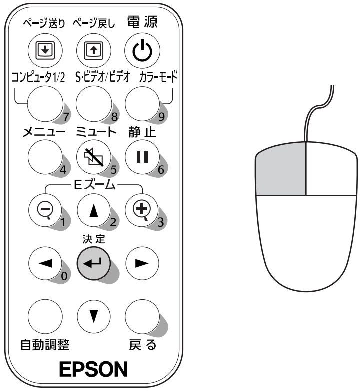
- USBケーブルでの接続は、USB標準搭載モデルにのみ対応しています。
  Windowsの場合は、Windows98/2000/Me/XP Home Edition/XP Professionalプリインストールモデルだけに対応しています。アップグレードしたWindows98/2000/Me/XP Home Edition/XP Professional環境下では動作を保証いたしません。
- Windows/Macintoshともに OS のバージョンによりワイヤレスマウス機能を使用できない場合があります。
- マウスを使用するために、コンピュータ側の設定が必要な場合があります。詳しくはコンピュータの取扱説明書をご覧ください。

接続した後はマウスポインタを次のように操作できます。

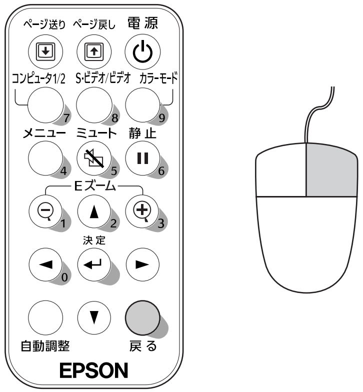
マウスポインタの移動
リモコンの[▲][▼][◄][►]ボタンを押すと、押した方向にマウスポインタが移動します。



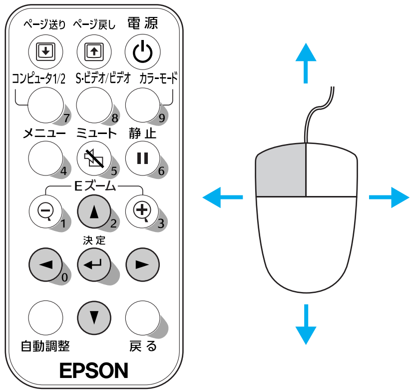
左クリック
[決定]ボタンを押します。
すばやく２回続けて押すと、ダブルクリックになります。



右クリック
[戻る]ボタンを押します。



ドラッグ＆ドロップ
[決定]ボタンを押したまま、[▲][▼][◄][►]ボタンを押すと、ドラッグの動作になります。任意の場所で[決定]ボタンを離すと、ドロップします。

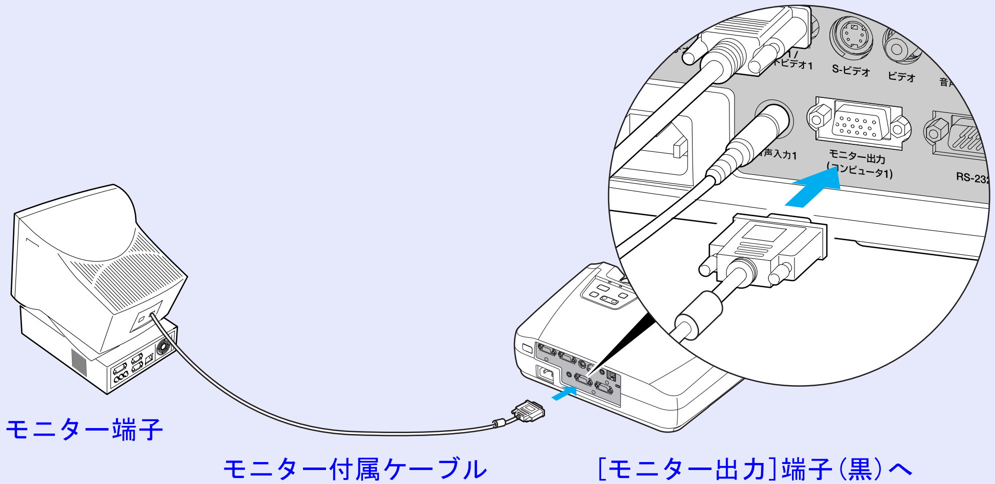


ポイント

- コンピュータでマウスボタンの左右を逆に設定している場合は、リモコンでの操作も逆になります。
- 以下の機能を使用しているときは、ワイヤレスマウス機能は行えません。
  - ・環境設定メニューの表示中
  - ・ヘルプ表示中
  - ・Eズーム機能中
  - ・ユーザーロゴのキャプチャ中

外部モニターとの接続

[コンピュータ1/コンポーネントビデオ1]端子から入力しているコンピュータのアナログRGB映像やRGBビデオ映像を投写中は、本機に外部モニターを接続して外部モニターで確認しながらプレゼンテーションなどを行うことができます。
[コンピュータ2/コンポーネントビデオ2]端子に接続している場合は、外部モニターに出力させることはできません。
外部モニターは、モニターに付属のケーブルで接続します。



ポイント

- ビデオ映像は外部モニターに出力させることはできません。
- 台形補正などの設定ゲージや環境設定メニュー・ヘルプの表示は外部モニターに出力されません。

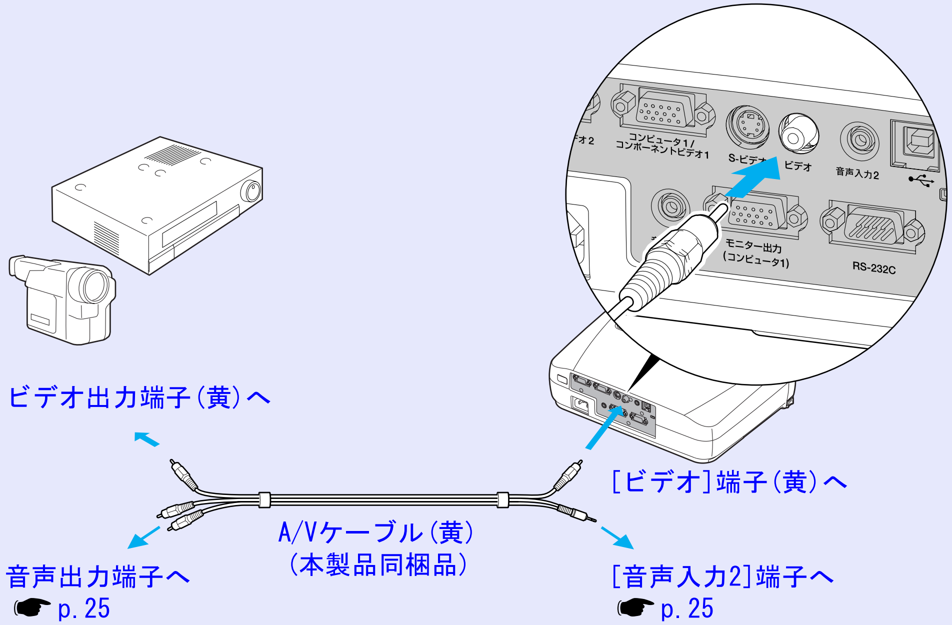
ビデオ機器との接続

注意 ビデオ機器を接続する際は、次の点に注意してください。

- 接続する前に本機とビデオ機器の電源を切ってください。電源が入った状態で接続すると、故障の原因になります。
- ケーブルのコネクタ形状と端子の形状を確認して接続してください。向きや形状が異なっているものを無理に押し込むと故障や機器の破損の原因になります。
- 電源ケーブルと接続ケーブルは一緒に結束しないでください。映像にノイズが現れたり、誤作動の原因になります。

コンポジットビデオ»の映像を映す

同梱のA/Vケーブルを使って接続します。

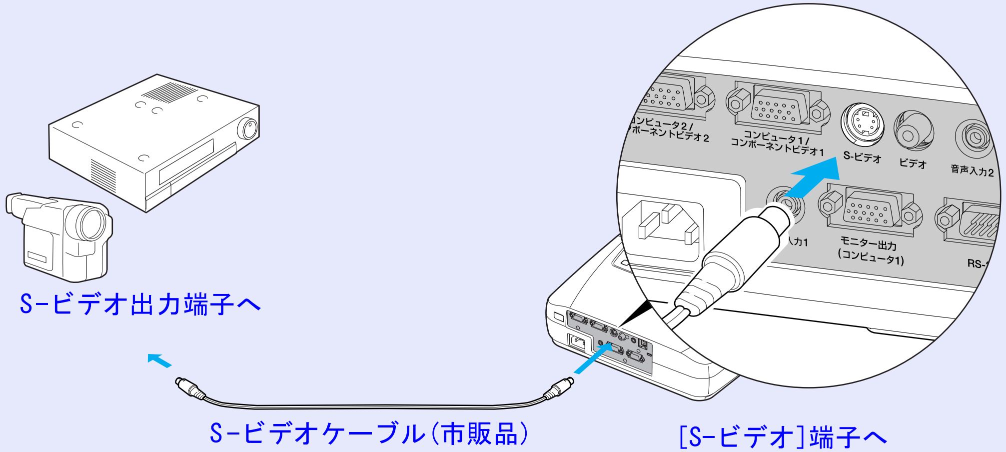


ポイント

本機に複数の機器を同時に接続して使用する場合は、投写開始後、投写映像に「ビデオ」と表示されるまでリモコンの[S-ビデオ/ビデオ]ボタン、または本体の[入力切替]ボタンを押して投写する信号を選択します。 ☛ p. 33

S-ビデオの映像を映す

市販のS-ビデオ»ケーブルを使って接続します。



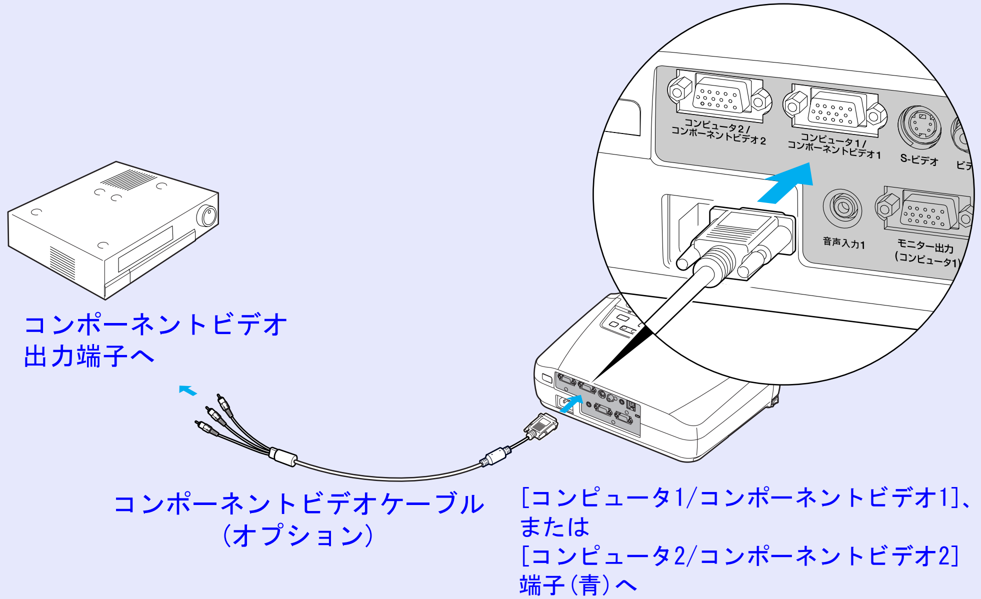
ポイント

本機に複数の機器を同時に接続して使用する場合は、投写開始後、投写映像に「S-ビデオ」と表示されるまでリモコンの[S-ビデオ/ビデオ]ボタン、または本体の[入力切替]ボタンを押して投写する信号を選択します。 ☛ p. 33

コンポーネントビデオの映像を映す

オプションのコンポーネントビデオ▸▸ケーブルを使って接続します。

☛「付録 オプション品一覧」p. 90



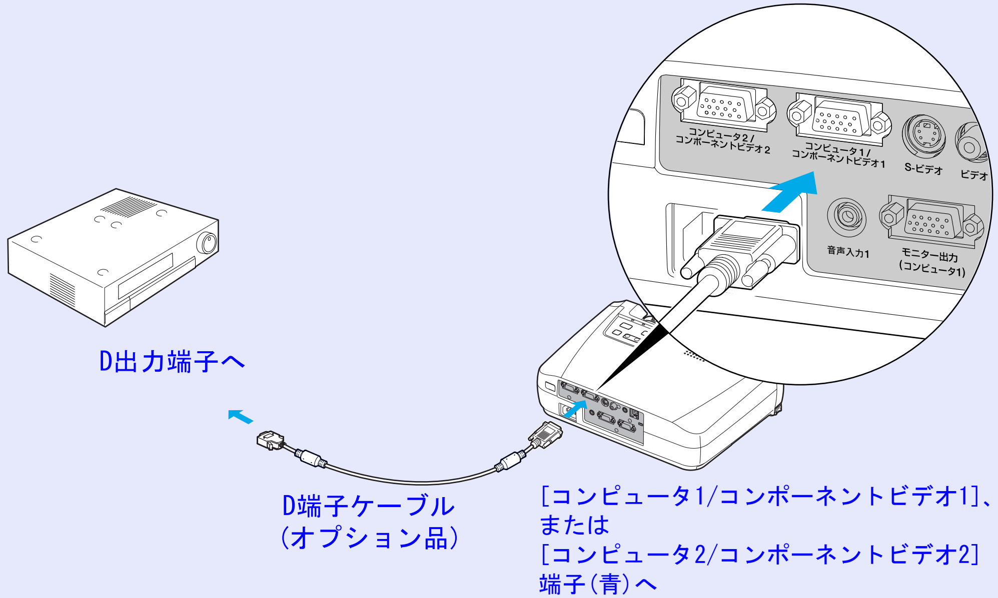
ポイント

- [コンピュータ 1/コンポーネントビデオ 1] 端子に接続しているときは、投写開始後、環境設定メニューの「映像」→「入力信号」で機器の信号に合わせて「コンポーネントビデオ1(YCbCr▸▸)」、または「コンポーネントビデオ1(YPbPr▸▸)」に設定します。 ☛ p. 54
- [コンピュータ 2/コンポーネントビデオ 2] 端子に接続しているときは、投写開始後、環境設定メニューの「映像」→「入力信号」で機器の信号に合わせて「コンポーネントビデオ2(YCbCr)」、または「コンポーネントビデオ2(YPbPr)」に設定します。 ☛ p. 54
- 本機に複数の機器を同時に接続して使用する場合は、投写開始後、投写映像に「コンポーネントビデオ1(YCbCr)」、または「コンポーネントビデオ1(YPbPr)」、「コンポーネントビデオ2(YCbCr)」、「コンポーネントビデオ2(YPbPr)」と表示されるまでリモコンの[コンピュータ1/2]ボタン、または本体の[入力切替]ボタンを押して投写する信号を選択します。 ☛ p. 33

BSデジタルチューナの映像を映す

オプションのD端子ケーブルを使って接続します。

☛「付録 オプション品一覧」p. 90

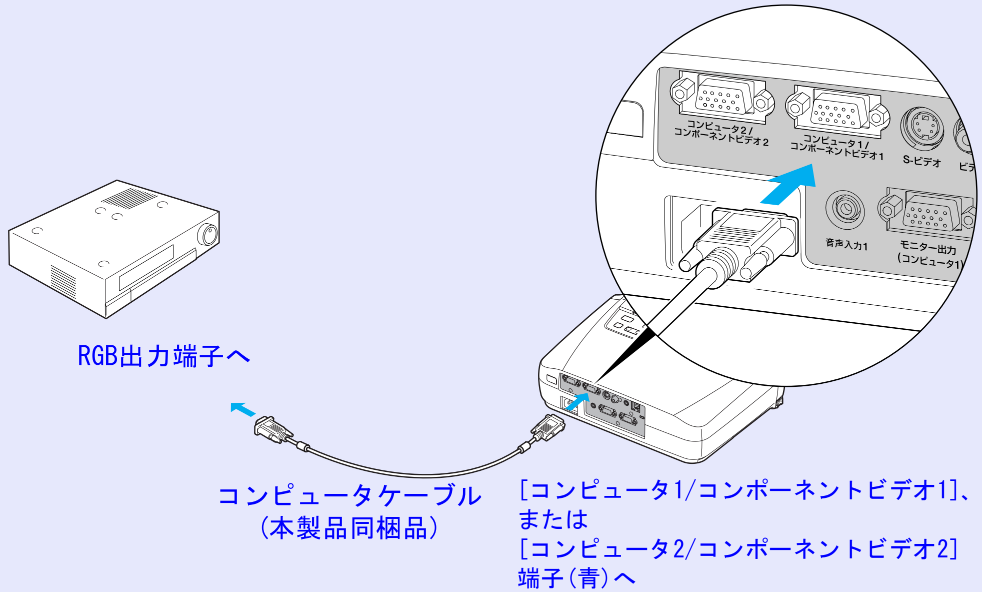


ポイント

- 投写開始後は、接続した端子に応じて、環境設定メニューの「映像」→「入力信号」で「コンポーネントビデオ1(YPbPr▸▸)」、または「コンポーネントビデオ2(YPbPr▸▸)」に設定します。 ☛ p. 54
- 本機に複数の機器を同時に接続して使用する場合は、投写開始後、投写映像に「コンポーネントビデオ1(YPbPr)」、または「コンポーネントビデオ2(YPbPr)」と表示されるまでリモコンの[コンピュータ1/2]ボタン、または本体の[入力切替]ボタンを押して投写する信号を選択します。 ☛ p. 33
- BSデジタルチューナへの接続は、日本国内でのみ可能です。
- D4規格までのBSデジタルチューナに対応しています。

RGBビデオの映像を映す

同梱のコンピュータケーブルを使って接続します。



ポイント

- 投写開始後は、接続した端子に応じて、環境設定メニューの「映像」→「入力信号」で「コンピュータ1」、または「コンピュータ2」に設定します。 ☛ p. 51
- 本機に複数の機器を同時に接続して使用する場合は、投写開始後、投写映像に「コンピュータ1」、または「コンピュータ2」と表示されるまでリモコンの[コンピュータ1/2]ボタン、または本体の[入力切替]ボタンを押して投写する信号を選択します。 ☛ p. 33

接続機器の音声を出す

本機には、最大1Wのスピーカが1個内蔵されています。音声出力端子を持つ接続機器(コンピュータやビデオ機器)の音声を本機の内蔵スピーカから出力することができます。

接続に使う音声のケーブルは、接続機器の端子形状に合わせて次のいずれかから選択します。

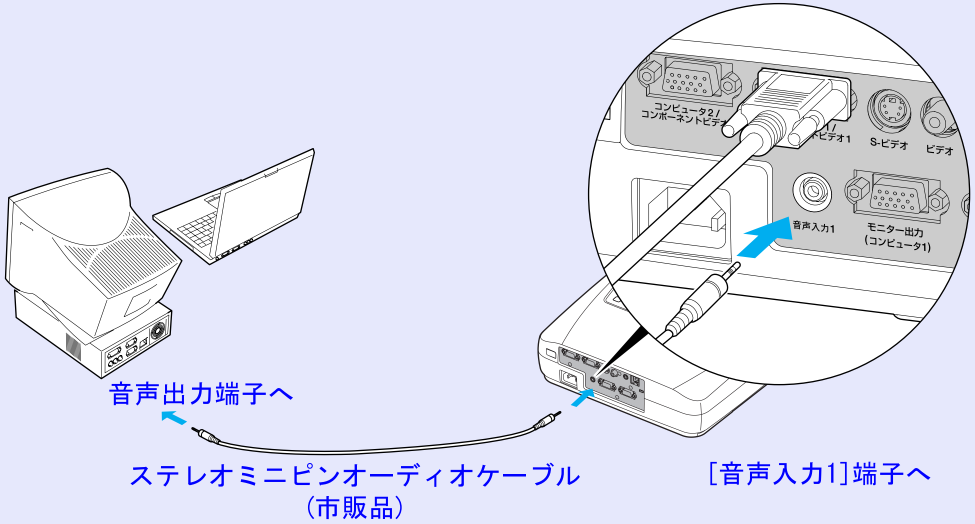
- ステレオミニジャック(コンピュータなどの音声出力端子)に接続する場合: 市販のステレオミニピンオーディオケーブルを使って接続します。
- RCAピンジャック×2(赤/白)(ビデオ機器などの音声出力端子)に接続する場合: 同梱のA/Vケーブルを使って接続します。

環境設定メニューの「音声」→「音声入力」の初期設定が、コンピュータのアナログRGB映像やRGBビデオ、コンポーネントビデオ投写時は「音声入力1」、コンポジットビデオやS-ビデオ投写時は「音声入力2」に設定されています。接続機器に合わせて設定を変更する、または音声を入力する端子を選んでください。

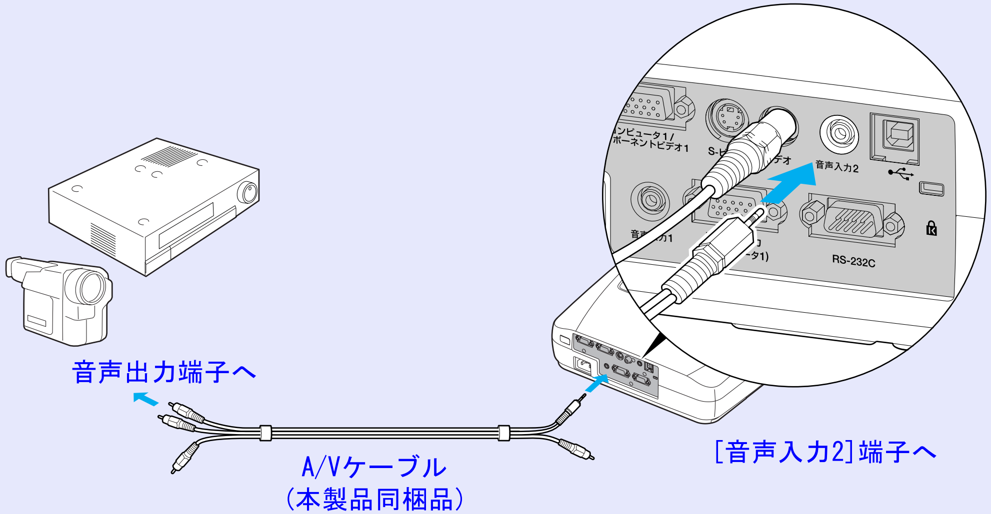
ポイント

- 投写開始後、音量を調整することができます。 ☛ p. 26
- 市販の２RCA(L・R)/ステレオミニピンオーディオケーブルを使う場合は「抵抗なし」と表記されているものをお使いください。

[音声入力1]端子に接続する場合



[音声入力2]端子に接続する場合



音量を調整するには､以下の操作を行ってください。

操作

1 **リモコンの[メニュー]ボタンを押し､環境設定メニューから｢音声｣→｢音量｣を選びます。**

操作の詳細は､｢環境設定メニューの操作｣をご覧ください。 ☛ p. 63



2 **[◄][►]ボタンを押して､音量を設定します。**

ボタンを押すたびに､音量が増減します。



3 **設定が終了したら[メニュー]ボタンを押して環境設定メニューを終了します。**

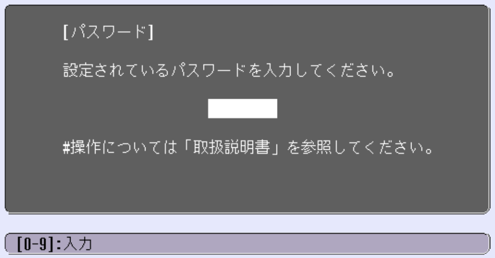
利用者を管理する(パスワードプロテクト)

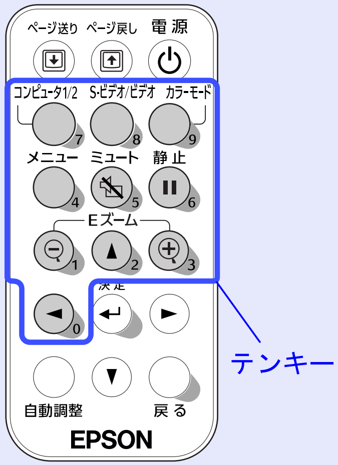
パスワードプロテクト機能を有効にすると、電源を入れてもパスワードを知らない人は投写できません。さらに、電源を入れたときに表示される社名ロゴや管理者名等を変更できなくなります。この結果、本機を持ち出しても使えないため、盗難等の防止につながります。

パスワードプロテクトを有効にしていると

「電源投入時」を有効(オン)にしている場合

電源を入れたときにパスワードを入力する画面が表示されます。
パスワードを入力する画面が表示されているときは、次図の枠内のボタンがテンキーモードになります。





設定しているパスワードを、[テンキー]ボタンで入力します。パスワードを正しく入力すると、投写を開始します。

ポイント

- パスワードプロテクトに関してお問い合わせいただいた際は、お客様から返送いただいた『お客様情報＋正式保証書発行カード』に記載されているお客様のお名前や連絡先などをお聞きし、ご本人様であることを確認させていただきます。同梱の『お客様情報＋正式保証書発行カード』に必要事項を記入して、必ず返送してください。
- 間違ったパスワードを続けて3回入力した場合は、「プロジェクターの動作を停止します。」と、メッセージが約５分間表示され、本機がスタンバイ状態になります。この場合は、電源プラグを抜いて差し直し、本機の電源を入れます。パスワードの入力を求める画面が表示されますので、パスワードを正しく入力してください。
  万一、パスワードを忘れてしまったときは、画面に表示されている「問い合わせコード：xxxx」の番号を控えて、インフォメーションセンターにご連絡いただき、その指示に従ってください。☛ p. 104
- 上記の操作を繰り返し、間違ったパスワードを続けて9回入力した場合は、次のメッセージが表示されパスワード入力もできなくなります。
  「プロジェクターの動作を停止します。エプソン修理センターにお問い合わせください。」☛ p. 104

「ユーザーロゴ保護」を有効(オン)にしている場合

以下のユーザーロゴに関する操作を行おうとすると、メッセージが表示され、変更することができません。変更する場合は、オフにしてから操作してください。 ☛ p. 29

- ユーザーロゴのキャプチャを実行する場合
- 環境設定メニューの「設定」→「背景色」の設定を「ロゴ」から「黒」、「青」に変更する、または「黒」、「青」から「ロゴ」に変更する場合
- 環境設定メニューの「高度な設定」→「スタートアップスクリーン」の設定(「オン」、「オフ」)を変更する場合

パスワードプロテクトの設定方法

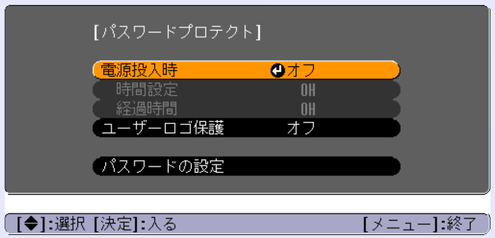
パスワードプロテクトの設定は、下記の手順で行います。

操作

1 [静止]ボタンを約7秒間押し続けます。
パスワードプロテクト設定メニューが表示されます。

リモコン





ポイント

- すでにパスワードプロテクトが有効になっていると、パスワードを入力する画面が表示されます。
パスワードを正しく入力するとパスワードプロテクト設定メニューが表示されます。
☛「パスワードプロテクトを有効にしていると」p. 27
- パスワードプロテクトを「オン」にした場合は、盗難防止の効果を高めるために製品同梱のパスワードプロテクトシールを本機のお好きな位置に貼ってください。

2 「電源投入時」を有効にします。
① 「電源投入時」を選択し、[決定]ボタンを押します。
② 「オン」を選択し、[決定]ボタンを押します。
③ [戻る]ボタンを押します。
次の「時間設定」で、パスワードを入力しなくてもプロジェクターを使える時間を設定できます。
時間設定する場合は、次の手順に進みます。時間設定しない場合は、手順5に進みます。

ポイント

設定時間に対して、すでに使用した時間は、「経過時間」で確認できます。

3 「時間設定」を選択し、[決定]ボタンを押します。

4 **設定する時間を3桁までの数値で入力します。**
[テンキー]ボタンで設定時間を0〜999の範囲で入力し、[決定]ボタンを押します。間違えて入力した場合は、[戻る]ボタンを押して再度入力します。
このあとメッセージが出ます。
パスワードプロテクト設定メニューを終了すると、経過時間のカウントを開始します。

ポイント
設定時間を「0」にすると、電源を入れるたびにパスワードを入力しないと投写できません。

5 **「ユーザーロゴ保護」を有効にします。**
① 「ユーザーロゴ保護」を選択し、[決定]ボタンを押します。
② 「オン」を選択し、[決定]ボタンを押します。
③ [戻る]ボタンを押します。

6 **パスワードを設定するには、「パスワードの設定」を選択し、[決定]ボタンを押します。**

7 **「パスワードを変更しますか?」と表示されるので、「はい」を選択し、[決定]ボタンを押します。**
初期設定でパスワードは「0000」に設定されていますが、必ず任意のパスワードに変更してください。
「いいえ」を選択すると、手順1の画面にもどります。

8 **パスワードを数字4桁で入力します。**
[テンキー]ボタンで4桁の数字を入力します。入力したパスワードは「* * * *」と表示されます。
4桁目を入力すると、次の確認画面に切り替わります。

9 **手順8で入力したパスワードを再度入力します。**
「パスワード設定が終了しました。」とメッセージが表示されます。
間違えてパスワードを入力した場合は、メッセージが表示されますのでパスワード設定をやり直してください。

10 **設定が終了したら、[メニュー]ボタンを押します。**

ポイント
- 設定時間が過ぎてパスワードを入力した場合、投写開始とともに「経過時間」が「0」に戻りカウントを開始します。
- 設定したパスワードは、忘れないように記録して管理してください。
- リモコンをなくすとパスワードの入力ができなくなります。リモコンは大切に保管してください。

基本操作編

ここでは、投写開始と終了、投写映像の調整など基本的な機能について説明しています。

電源を入れ投写しよう

電源を入れ、投写を行います。

注意 投写する前に、別冊の『安全にお使いいただくために/サポートとサービスのご案内』を必ずお読みください。

電源ケーブルを接続しよう

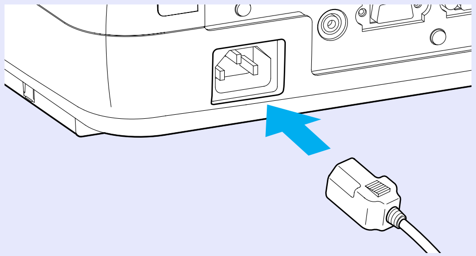
操作

1 本機と本機に接続するすべての機器の電源が切ってあることを確認します。

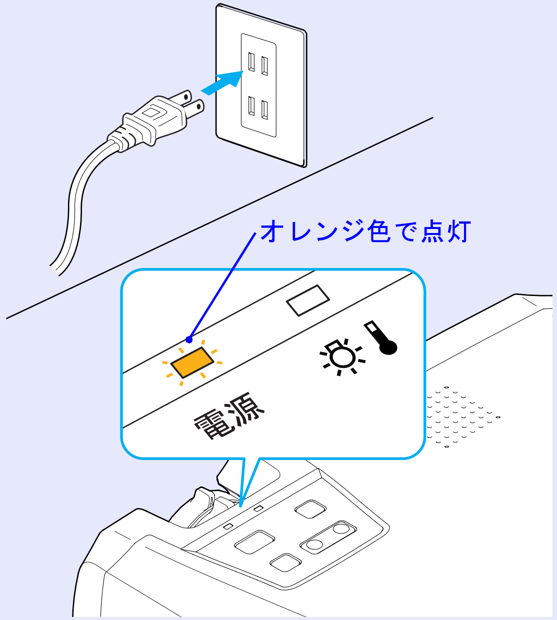
2 本機とコンピュータあるいはビデオ機器を接続します。
☛ p. 16, 22

3 レンズカバーを外します。
レンズカバー上部に指をかけて外します。

4 本機に、同梱の電源ケーブルを取り付けます。
本機の電源端子と、電源コネクタの形状を確認し、しっかりと奥まで差し込みます。



5 電源プラグをコンセントに差し込みます。
電源インジケータがオレンジ色の点灯に変わるまで待ちます。



ポイント
電源インジケータがオレンジ色に点滅しているときは、リモコンや操作パネルのボタン操作は無効となります。

電源オン、投写開始

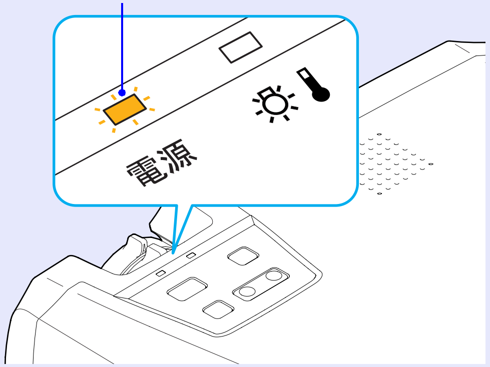
ポイント

パスワードプロテクトの設定により、電源を入れたときにパスワードを入力する画面が表示されることがあります。
その場合はパスワードを入力してください。 ☛ p. 27

操作

1 電源インジケータがオレンジ色で点灯しているのを確認します。

オレンジ色で点灯



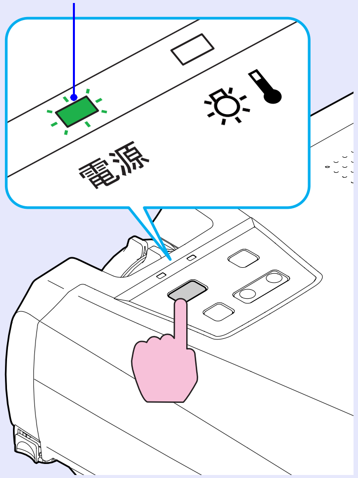
2 本機に接続されている機器の電源を入れます。

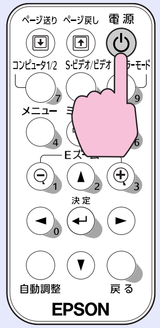
ビデオ機器の場合は、さらにビデオ機器の[再生]や[プレイ]ボタンを押します。

3 [電源]ボタンを押して電源を入れます。

「ピッ」と本機の起動音が鳴ります。
電源インジケータが緑色の点滅に変わります。
しばらくするとランプが点灯し投写が始まります。
電源インジケータが緑色の点灯に変わるまで待ちます(約40秒かかります)。

緑色の点滅から点灯に変わります。





リモコン

ポイント

- 電源インジケータが緑色で点滅しているときは、[電源] ボタン操作は無効となります。
- 環境設定メニューの設定によっては、「映像信号が入力されていません。」と表示されます。 ☛「設定」→「メッセージ表示」 p. 56

4 複数の機器を接続している場合は、次表を参照し、リモコンまたは本体のボタンで投写したい映像ソースに切り替えます。

リモコン



本体



接続端子	選択するボタン		画面上の表示
	リモコン	本体	
コンピュータ1/コンポーネントビデオ1	[コンピュータ1/2]	[入力切替]を押すたびに映像ソースが切り替わります。S-ビデオを接続していない場合は、「S-ビデオ」に切り替えることはできません。	コンピュータ1※ コンポーネントビデオ1(YCbCr)※ コンポーネントビデオ1(YPbPr)※
コンピュータ2/コンポーネントビデオ2			コンピュータ2※ コンポーネントビデオ2(YCbCr)※ コンポーネントビデオ2(YPbPr)※
S-ビデオ	[S-ビデオ/ビデオ]		S-ビデオ
ビデオ			ビデオ

※環境設定メニューの「映像」→「入力信号」で設定されているものが表示されます。

ポイント

- 接続機器が1台だけの場合は、リモコンまたは本体のボタンを押さなくても投写されます。
- 「映像信号が入力されていません。」と表示されたままの場合は、接続をもう一度確認してください。
- ノートタイプや液晶一体型のコンピュータを接続したときには、映像が投写されないことがあります。投写開始後にコンピュータの信号を外部に出力させる設定をコンピュータ側で行ってください。
  次表は、出力切り替えの一例です。詳しくはコンピュータの取扱説明書の「外部出力のしかた」や「外部モニターへの出力」などの項をご覧ください。

NEC製	Panasonic製	東芝製	IBM製	SONY製	富士通製	Macintosh
[Fn]+[F3]	[Fn]+[F3]	[Fn]+[F5]	[Fn]+[F7]	[Fn]+[F7]	[Fn]+[F10]	再起動した後、コントロールパネルの調整でミラーリングの設定にする。

- 同一の静止映像を長時間投写していると、投写映像に残像が残ることがあります。静止映像は長時間投写しないでください。

電源を切り終了しよう

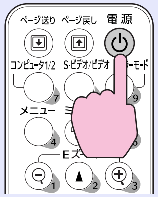
投写を終了するには、次の手順で行います。

操作

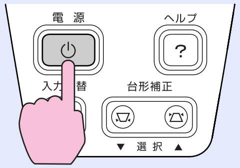
1 **本機に接続している機器の電源をオフにします。**
すべての接続機器の電源が切れていることを確認します。

2 **[電源]ボタンを押します。**

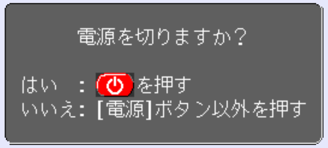
リモコン



本体



次の確認のメッセージが表示されます。

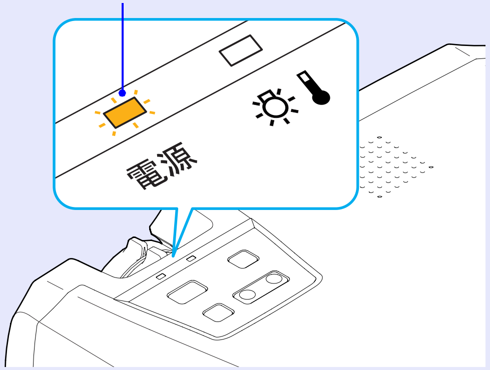


電源を切りたくないときは、[電源]、[ページ送り]、[ページ戻し]ボタン以外のボタンを押します。
何も操作しないと、7秒後に自動的にメッセージが消えます(電源は切れません)。

注意 「内部温度が上昇しています。エアーフィルタの掃除や交換を行い、室温を下げてください。」とメッセージが表示されたときは、リモコンまたは本体の[決定]ボタンを押して、電源をオフにしたあと、エアーフィルタの掃除を行ってください。
☛ p. 80

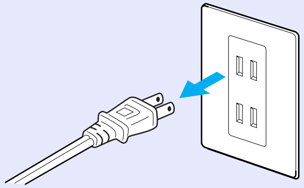
3 **もう一度[電源]ボタンを押します。**
ランプが消灯します。電源インジケータがオレンジ色に点滅し、クールダウンが始まります。
クールダウンの時間は約20秒です。
クールダウンが終了すると、電源インジケータがオレンジ色の点灯に変わります。

オレンジ色で点滅した後、点灯に変わります。



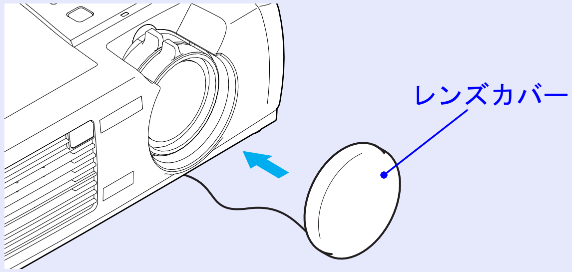
ポイント
電源インジケータがオレンジ色に点滅しているときは、リモコンまたは本体のボタン操作は無効になります。点灯に変わるまでお待ちください。

4 本機を長期間、使用しない場合は、電源ケーブルのプラグをコンセントから抜きます。



注意 電源インジケータがオレンジ色に点滅しているときは、電源プラグをコンセントから抜かないでください。故障の原因になったり、ランプの交換時期が早くなります。

5 レンズカバーを取り付けます。
レンズにホコリや汚れが付着するのを防ぐために、使用しないときはレンズカバーを取り付けます。



投写映像を調整しよう

投写映像の補正や各種調整を行い、最適な投写状態にします。

投写サイズの微調整(ズーム調整)

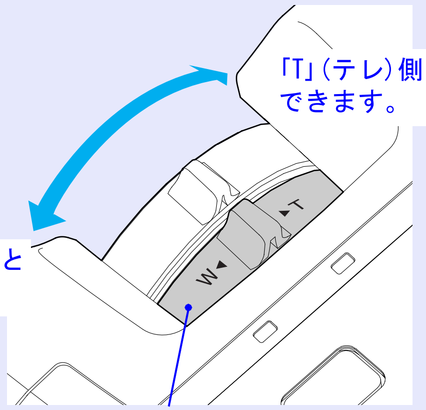
基本的に投写サイズは、スクリーンから本機の設置位置までの距離で合わせます。 ☛ p. 15
ここでは、その後に行う調整の方法を説明します。

ポイント

一部分を拡大するEズーム機能もあります。 ☛ p. 48

操作

ズームリングを回して調整します。
1. 2倍まで拡大できます。

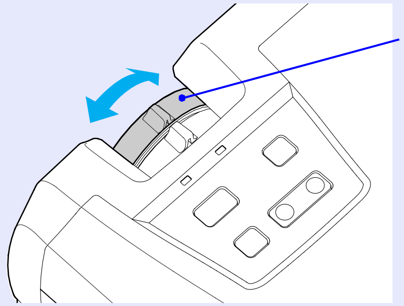


さらに拡大したいときは、投写距離で調整します。 ☛ p. 15

ピントを合わせる(フォーカス調整)

操作

フォーカスリングを回してピントを合わせます。



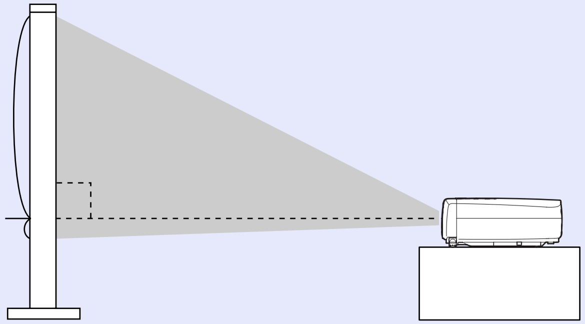
ポイント

- レンズが汚れているときや結露して曇っているときはピントが合いません。汚れや曇りを取り除いてください。 ☛ p. 74, 80
- 設置距離が89～1050cmからはずれると、ピントが合いません。設置距離を確認してください。

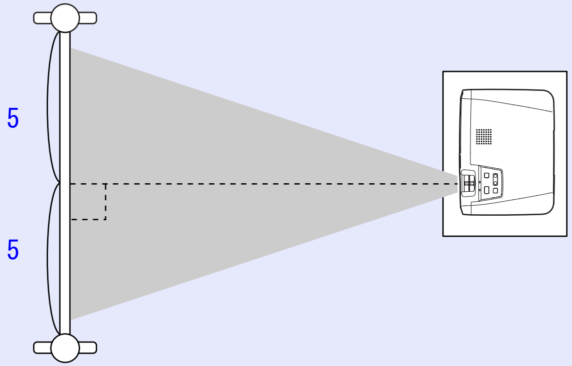
投写角度の調整と自動台形補正

プロジェクターは、できるだけスクリーンと直角になるように設置してください。

横から見たとき



上から見たとき



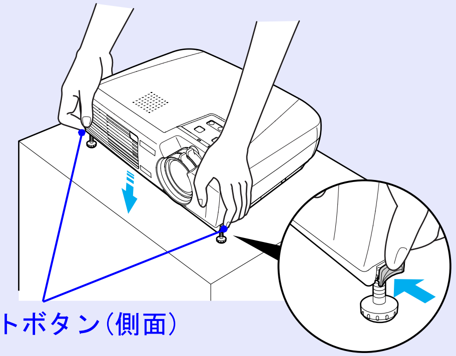
スクリーンに対して直角に設置できない場合は、上下方向に対しては本機を傾けて設置できます。フロントフットの伸縮を調節することで、上方向に最大傾斜角度10° までの範囲で投写角度を調整できます。

操作

両側のフットボタンを両方とも押したまま、本機前面を持ち上げると、フロントフットが伸びます。

投写したい角度になるまでフロントフットを伸ばし、フットボタンを離します。

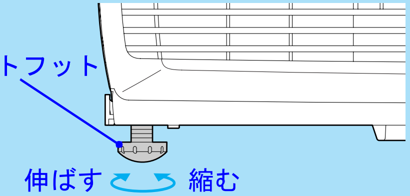
フロントフットを収納するには、フットボタンを押したまま、本機をゆっくり降ろします。



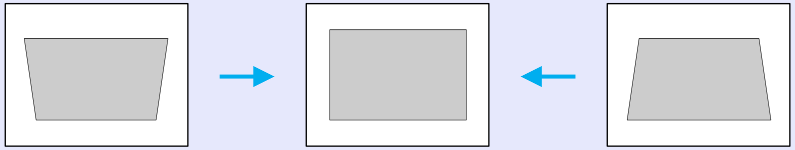
ポイント

本機が水平方向に傾いているときは、左右のフロントフットの接地部を回して、高さを微調整してください。本機が水平方向に傾いていると、正しく自動台形補正が行われない場合があります。

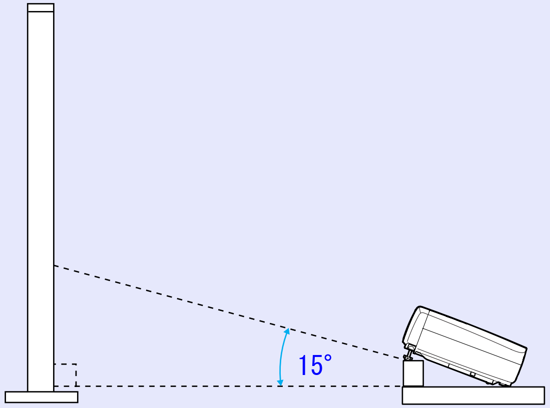
☛ p. 38



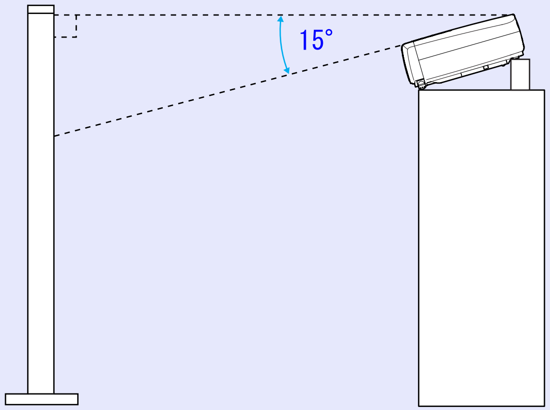
本機を上下方向に傾けて投写すると、画面は台形にゆがみます。しかし、本機には画面のゆがみを自動的に補正する「自動台形補正機能」が備わっており、上下に約15°※までの傾きであれば、自動的にゆがみのない映像に補正します。自動台形補正は、電源を入れてある状態で本機を設置して約1秒後に行われます。



上方向に約15°



下方向に約15°



※ ズームリングを最も「T」側に設定したときの値です。ズームリングを「W」側に調整するほど、対応できる傾斜角度の値は小さくなります。

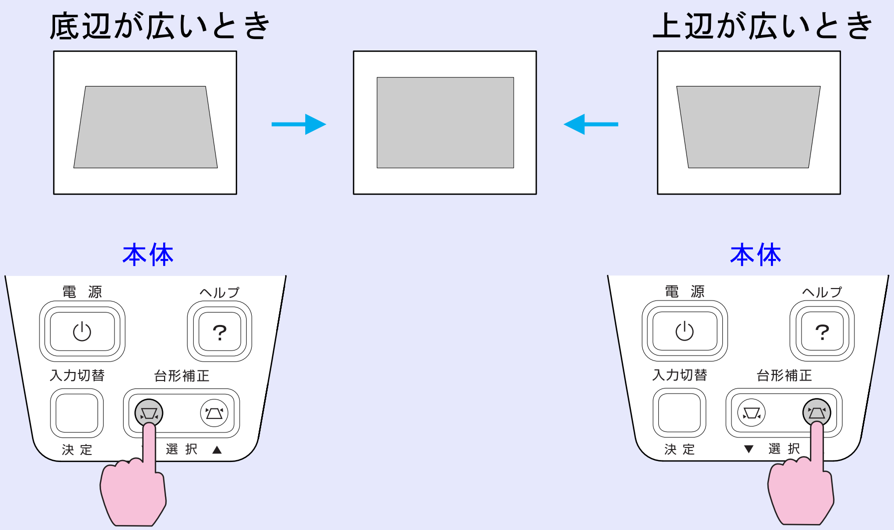
ポイント

- 環境設定メニューの「高度な設定」→「設置モード」が「フロント」以外のときは自動台形補正は行われません。
- 自動台形補正が行われたあと、さらに微調節したい場合は本体の[台形補正]ボタンを押して補正を行うことができます。☛ p. 39
- 台形補正をすると画面が小さくなります。
- 台形補正でムラが目立つ場合は、シャープネスを下げてください。☛ p. 50, 53
- 自動台形補正が不要な場合は、環境設定メニューの「設定」→「自動台形補正」を「オフ」に設定してください。☛ p. 56

台形にゆがむ場合の手動補正

本機は、投写時に上下の傾きを検知し、自動的に台形補正を行う「自動台形補正機能」を備えています。自動台形補正の結果に、さらに微調整を行いたい場合は、本体の[台形補正]ボタンを押して調整します。

操作



ポイント

- 台形補正をすると画面が小さくなります。
- 台形補正でムラが目立つ場合は、シャープネスを下げてください。 ☛ p. 50, 53
- 台形補正は環境設定メニューでも調整できます。 ☛ p. 56
- 台形補正を行っているときに、画面に表示されるゲージの値が変化しなくなったら、台形補正量の限界を超えたことを示しています。本機を制限以上に傾けて設置していないか確認してください。

画質の調整をしよう

映像の画質を調整します。

コンピュータ映像やRGBビデオ映像の調整

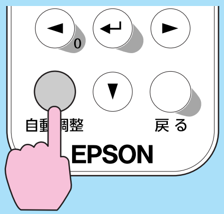
自動調整機能

接続されたコンピュータのアナログRGB映像やRGBビデオ映像の信号を判断し、映像を最適な状態に自動的に調整します。
自動調整で調整されるのは、トラッキング▸▸、表示位置、同期(Sync.)▸▸の3項目です。

ポイント

- 環境設定メニューの「映像」→「自動セットアップ」を「オフ」に設定している場合は(初期設定は「オン」)、自動調整機能は働きません。この場合は、コンピュータやRGBビデオの映像を投写中に、[自動調整]ボタンを押して、調整を行います。

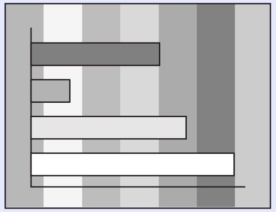
  リモコン

- Eズーム機能や静止機能を実行しているときや環境設定メニュー、ヘルプを表示中に[自動調整]ボタンを押すと、実行している機能を解除してから調整します。
- コンピュータやRGBビデオが出力している信号によっては、うまく調整できない場合があります。そのような場合は、環境設定メニューで、トラッキングと同期をそれぞれ調整してください。
  ☛ p.41, 42

トラッキングの調整

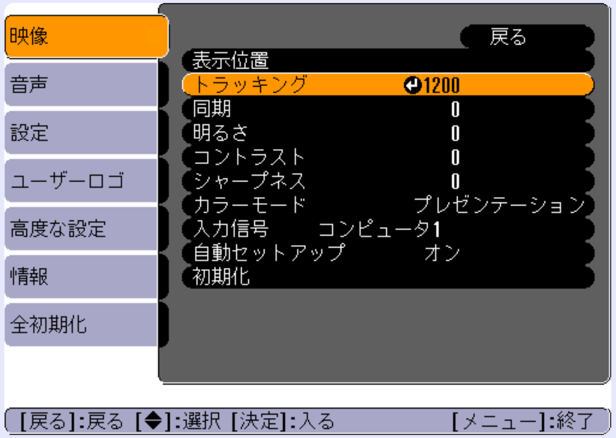
自動調整を行っても、コンピュータやRGBビデオの映像に縦の縞模様が出て調整しきれない場合は、次のように個別にトラッキング▸▸の調整を行います。



操作

1 リモコンの[メニュー]ボタンを押し、環境設定メニューから「映像」→「トラッキング」を選びます。

操作の詳細は、「環境設定メニューの操作」をご覧ください。 ☛ p. 63



2 [◄][►]ボタンを押して、映像の縦の縞模様が消えるようにトラッキングの値を設定します。

ボタンを押すたびに、トラッキングの値が増減します。



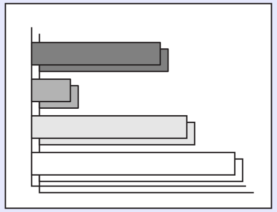
3 設定が終了したら[メニュー]ボタンを押して環境設定メニューを終了します。

ポイント

連続してトラッキングを調整すると、投写映像が点滅しますが、故障ではありません。

同期の調整

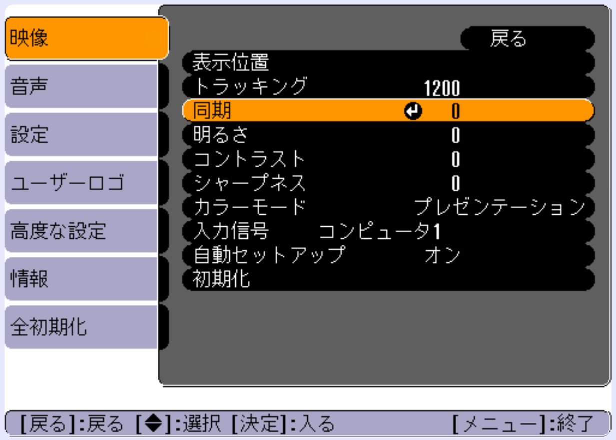
自動調整を行っても、コンピュータやRGBビデオの映像にちらつき、ぼやけ、横ノイズが出て調整しきれない場合は、次のように個別に同期▸▸調整を行います。



操作

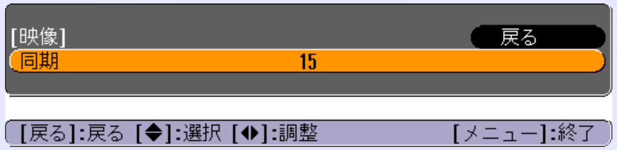
1 **リモコンの［メニュー］ボタンを押し、環境設定メニューから「映像」→「同期」を選びます。**

操作の詳細は、「環境設定メニューの操作」をご覧ください。☛p. 63



2 **［◄］［►］ボタンを押して、映像のちらつき、ぼやけ、横ノイズが消えるように同期の値を設定します。**

ボタンを押すたびに、同期の値が増減します。



3 **設定が終了したら［メニュー］ボタンを押して環境設定メニューを終了します。**

ポイント

- トラッキングを合わせてから同期を調整しないと、完全には調整できません。トラッキングのずれは、表示している画面によっては目立たない場合があります。縦線や網点の多い画面では目立ちやすくなりますので、トラッキングのずれを確認してください。
- ちらつき、ぼやけは、明るさやコントラスト▸▸、シャープネス、台形補正の調整で起こることもあります。

映り具合を選ぶ(カラーモード選択)

映像の特徴に合わせた次の6種類の設定があらかじめ記録されています。投写映像に応じて選択するだけで、簡単に最適な画質で投写できます。モードによって投写の明るさが異なります。

モード名	使い方
ダイナミック	明るさを重視し、プレゼンテーションモードより鮮やかでメリハリのある映像にします。
プレゼンテーション	明るさを重視し、プレゼンテーションに最適な映像にします。
シアター	自然な色合いで映画に最適です。
リビング	明るさを重視し、明るい部屋でTV等を投写するのに最適な映像にします。
sRGB▸▸	色の標準規格であるsRGBに準拠します。接続している機器にsRGBモードがある場合、本機と接続機器の両方ともsRGBに設定して使用します。
黒板	黒板(緑)に映像を投写した場合でも、自然な色合いの映像にします。

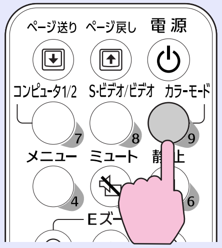
カラーモードの初期設定は、次のとおりです。
コンピュータ、RGBビデオ映像入力時:「プレゼンテーション」
その他の映像入力時:「ダイナミック」

操作

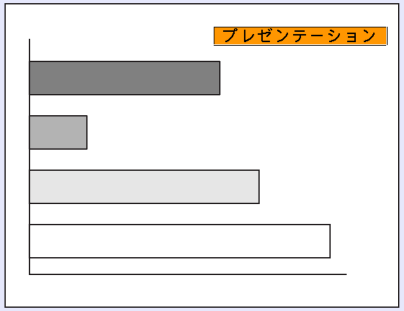
[カラーモード]ボタンを押すたびに次の順でカラーモードが切り替わります。

ダイナミック → プレゼンテーション
黒板 ← sRGB ← リビング ← シアター

リモコン



モードを切り替えるたびに、画面上に現在の設定が表示されます。



ポイント

環境設定メニューの「映像」→「カラーモード」からも設定できます。☛ p. 51, 53

応用編

この章では、投写を効果的にするための機能と環境設定メニューについて説明しています。

投写を効果的にする機能

ここでは、プレゼンテーションなどに有効で便利な各機能について説明しています。

ミュート機能

映像と音声を一時的に消します。
例えば、コンピュータの映像を投写中にファイルの切り替えを行うなど、操作内容を表示したくない場合に使用すると便利です。
ただし、動画を消している場合は消えている間も映像と音声は進んでいますので、消したときの場面からは再開できません。

操作

[ミュート]ボタンを押します。
映像と音声が消えます。

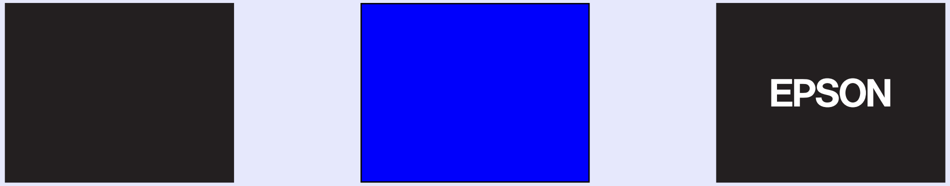
もう一度[ミュート]ボタンを押すと投写を再開します。
[戻る]ボタンを押しても再開できます。

リモコン



映像と音声を一時的に消したときの状態を、環境設定メニューの「設定」→「背景色」により、次の3種類の中から選択できます。
☛ p. 56

黒一色　　青一色　　ユーザーロゴ



初期設定

ポイント

- ユーザーロゴには EPSON ロゴが登録してあります。ユーザーロゴを変更する場合は、ユーザーロゴの登録が必要です。 ☛ p. 87
- ミュート機能を実行すると、自動的に環境設定メニューの「輝度切替」が「低輝度」に切り替わります。ミュート機能を解除すると、「輝度切替」の設定が戻ります。

静止機能

映像の動きを一時的に停止します。ただし、音声は停止しません。
動画を停止している場合は、停止している間も映像は進んでいますので、停止したときの場面からは再開できません。

操作

[静止]ボタンを押します。
映像が停止します。

解除するには再び[静止]ボタンを押します。
[戻る]ボタンを押しても解除できます。

リモコン

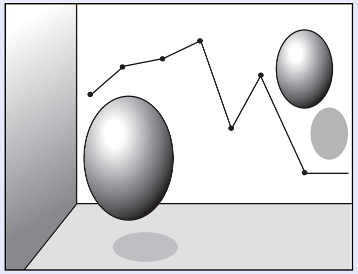


ポイント

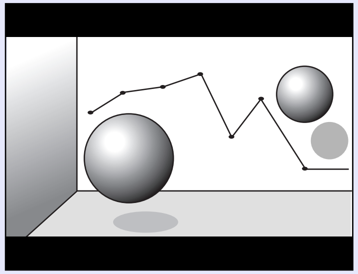
- [静止]ボタンを押すと、環境設定メニュー、ヘルプメニューは消去されます。
- Eズーム実行時も、静止機能で停止できます。

ビデオ機器の映像投写時に、ワイドサイズの映像を映す（アスペクト比の切り替え）

コンポーネントビデオ(YCbCr、YPbPr)、S-ビデオ、コンポジットビデオ投写時は、アスペクト比4：3と16：9を切り替えることができます。
デジタルビデオで録画した映像やDVD映像を16：9のワイド画面で投写できます。



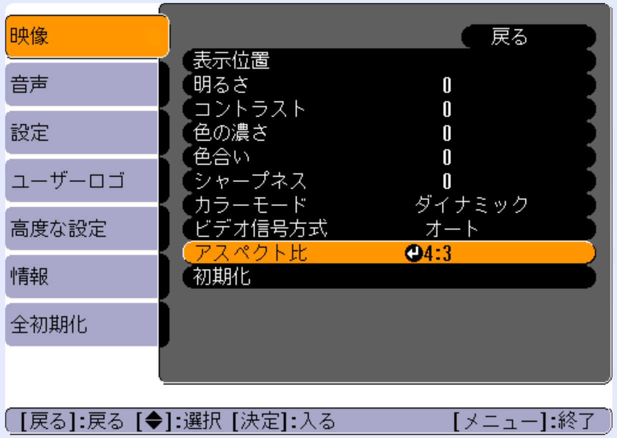
スクイーズモードの映像を4：3で投写した場合



スクイーズモードの映像を16：9で投写した場合

操作

1 リモコンの［メニュー］ボタンを押し、環境設定メニューから「映像」→「アスペクト比」を選びます。
操作の詳細は、「環境設定メニューの操作」をご覧ください。 ☛ p. 63



2 [▲][▼]ボタンで、アスペクト比「4:3」または「16:9」のいずれかを選択し、[決定]ボタンを押します。



3 設定が終了したら［メニュー］ボタンを押して環境設定メニューを終了します。

Eズーム機能

グラフや表など見たい部分を拡大/縮小できます。

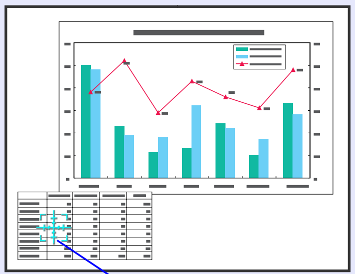
操作

1 **[Eズーム⊕]ボタンを押します。**
投写中の画面に、ズームを行う中心点を表すカーソル(ターゲットスコープ)が表示されます。

リモコン

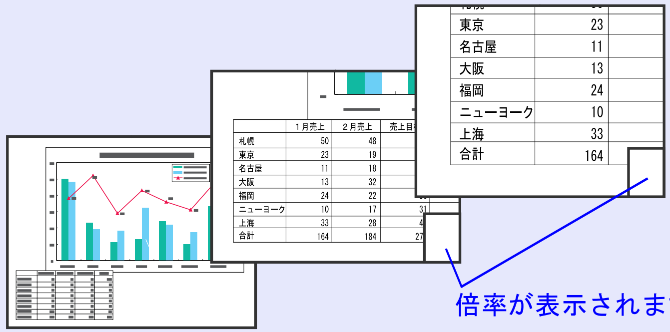


2 **拡大 / 縮小表示したい部分にターゲットスコープを移動させます。**
ターゲットスコープの移動は、リモコンの[▲][▼][◄][►]ボタンを押して行います。



ターゲットスコープ

3 **[⊕]ボタンを押すと、ターゲットスコープを中心に映像が拡大されます。[⊖]ボタンを押すと拡大した結果を縮小します。**
画面上に倍率が表示されます。
[▲][▼][◄][►]ボタンを押すことによって、画面のスクロールができます。



倍率が表示されます。

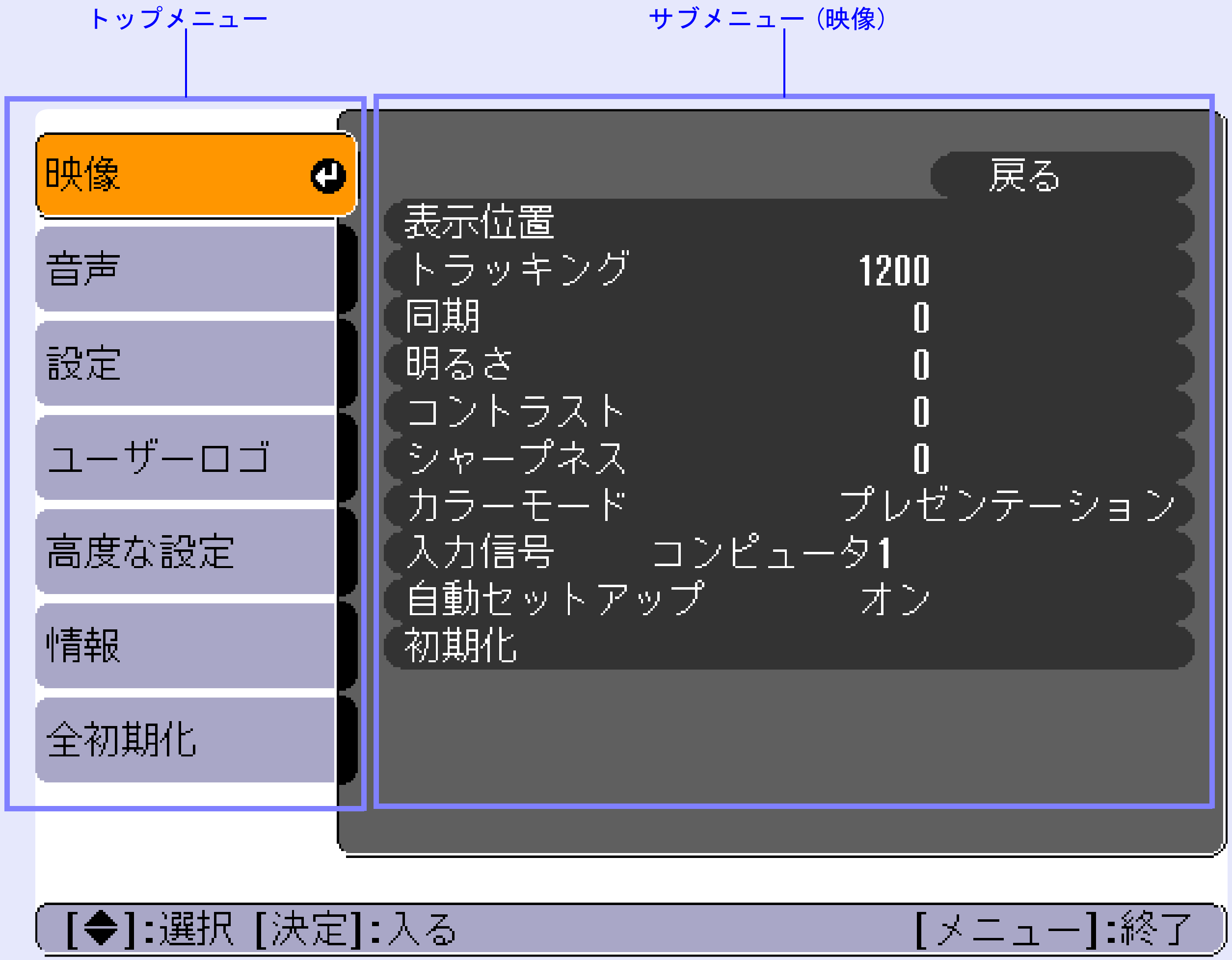
解除するには[戻る]ボタンを押します。

ポイント

1〜4倍まで、0.125倍刻みに25段階で拡大できます。

環境設定メニューの機能と操作

環境設定メニューでは、各種調整や設定ができます。
メニューは、トップメニューとサブメニュー、サブサブメニューがあり、階層構造になっています。
環境設定メニューの操作はリモコンを使って行います。操作方法の詳細は「環境設定メニューの操作」(☛ p. 63) をご覧ください。

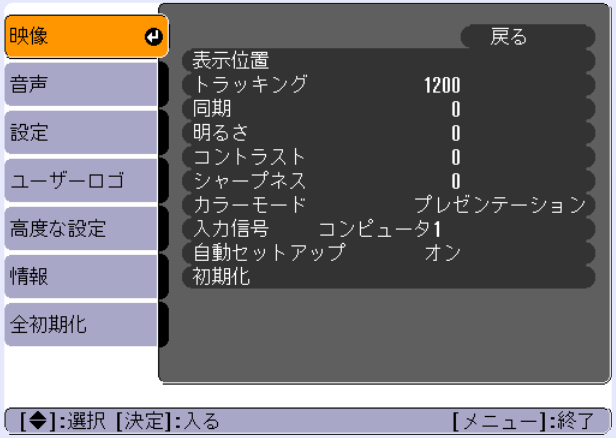


機能一覧

映像メニュー

- 入力信号が何も入力されていないときは､｢入力信号｣､｢自動セットアップ｣､｢ビデオ信号方式｣を除く項目は調整できません。
- ｢映像｣メニューは投写している入力信号によって表示される項目が異なります。投写している入力信号以外のメニューは調整できません。

コンピュータ(Analog-RGB)/RGBビデオ



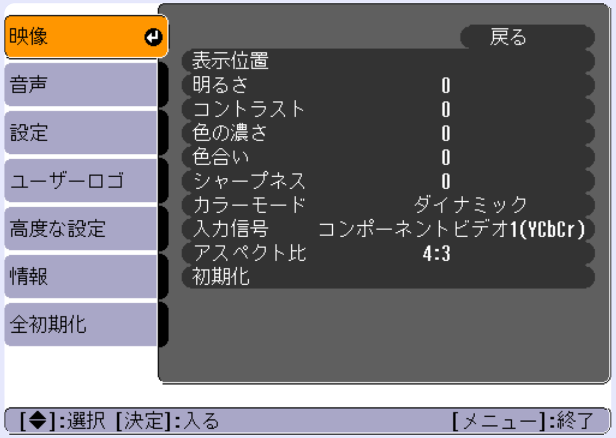
映像メニュー

サブメニュー	機能	初期設定値
表示位置	映像の表示位置を上下左右に移動します。 • リモコンの[決定]ボタンを押して表示される表示位置調整画面で調整します。	接続信号による
トラッキング	映像に縦の縞模様が出るときに調整します。	接続信号による
同期	映像にちらつき､ぼやけ､横ノイズが出るときに調整します。 • ちらつき､ぼやけは､明るさやコントラスト､シャープネス､台形補正の調整で発生することもあります。 • トラッキング調整の後に同期を調整したほうが鮮明に調整できます。	接続信号による
明るさ	映像の明るさを調整します。	中心値(0)
コントラスト	映像の明暗の差を調整します。	中心値(0)
シャープネス	映像のシャープ感を調整します。	中心値(0)

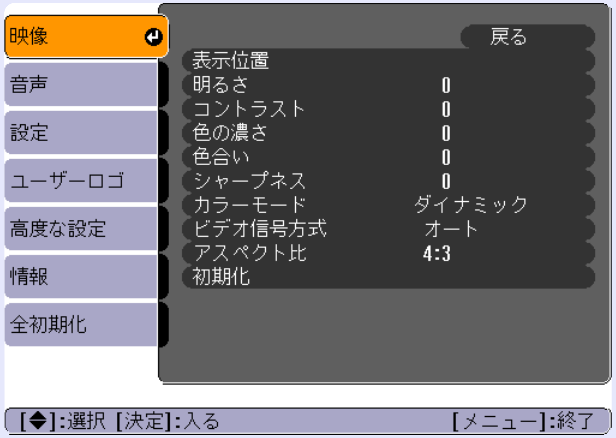
サブメニュー	機能	初期設定値
カラーモード	映像の色の鮮やかさを補正します。各ソース(コンピュータ、ビデオ機器)ごとに設定を保存できます。 6種類の画質から簡単にシーンに合った画質を選択できます。 • ダイナミック：明るさを重視し、プレゼンテーションモードより鮮やかでメリハリのある映像にします。 • プレゼンテーション：明るさを重視し、プレゼンテーションに最適な映像にします。 • シアター：自然な色合いで映画に最適です。黒っぽい映像時や白っぽく明るい映像時も階調(色の濃淡)差をはっきりさせ、見やすい映像にします。 • リビング：明るさを重視し、明るい部屋でTV等を投写するのに最適な映像にします。 • sRGB : sRGB 規格に準拠した映像にします。sRGB に設定すると「高度な設定」→「カラー調整」の絶対色温度が6500K に固定されます。 • 黒板 ：黒板(緑)に映像を投写した場合でも、自然な色合いの映像にします。	プレゼンテーション
入力信号	使用機器に応じて入力信号を選択します。 信号の入力先によって初期設定は異なります。 [コンピュータ1/コンポーネントビデオ1]端子から入力しているとき：コンピュータ1 [コンピュータ2/コンポーネントビデオ2]端子から入力しているとき：コンピュータ2 • コンピュータ、またはRGBビデオの映像を投写する場合は、「コンピュータ1」、または「コンピュータ2」を選択します。	入力先による
自動セットアップ	入力信号が切り替わったときに、映像を自動で最適な状態に調整する自動調整のオン/オフを設定します。	オン

サブメニュー	機能	初期設定値
初期化	「映像」メニューのうち、「入力信号」を除くすべての調整値を初期値に戻します。 • リモコンの[決定]ボタンを押して実行します。 • 「映像」や「音声」などすべての設定を初期値に戻すときは「全初期化」を実行してください。 ☛ p. 62	–

コンポーネントビデオ(YCbCr、YPbPr)



ビデオ(コンポジットビデオ、S-ビデオ)



映像メニュー

サブメニュー	機能	初期設定値
表示位置	映像の表示位置を上下左右に移動します。 • リモコンの[決定]ボタンを押して表示される表示位置調整画面で調整します。	接続信号による
明るさ	映像の明るさを調整します。	中心値(0)
コントラスト	映像の明暗の差を調整します。	中心値(0)
色の濃さ	映像の色の濃さを調整します。	中心値(0)
色合い	(コンポーネントビデオとNTSC系の信号入力時のみ調整可能) 映像の色合いを調整します。	中心値(0)
シャープネス	映像のシャープ感を調整します。	中心値(0)
カラーモード	映像の色の鮮やかさを補正します。各ソース(コンピュータ、ビデオ機器)ごとに設定を保存できます。6種類の画質から簡単にシーンに合った画質を選択できます。 • ダイナミック：明るさを重視し、プレゼンテーションモードより鮮やかでメリハリのある映像にします。 • プレゼンテーション：明るさを重視し、プレゼンテーションに最適な映像にします。 • シアター：自然な色合いで映画に最適です。黒っぽい映像時や白っぽく明るい映像時も階調(色の濃淡)差をはっきりさせ、見やすい映像にします。 • リビング：明るさを重視し、明るい部屋でTV等を投写するのに最適な映像にします。 • sRGB：sRGB 規格に準拠した映像にします。sRGB に設定すると「高度な設定」→「カラー調整」の絶対色温度が6500K に固定されます。 • 黒板：黒板(緑)に映像を投写した場合でも、自然な色合いの映像にします。	ダイナミック

サブメニュー	機能	初期設定値
入力信号	(コンポーネントビデオ信号入力時のみ調整可能) 使用機器に応じて入力信号を選択します。 信号の入力先によって初期設定は異なります。 [コンピュータ1/コンポーネントビデオ1]端子から入力しているとき：コンピュータ1 [コンピュータ2/コンポーネントビデオ2]端子から入力しているとき：コンピュータ2	入力先による
ビデオ信号方式	(コンポジットビデオ/S-ビデオ信号入力時のみ調整可能) ビデオ信号方式を設定します。 • リモコンの[決定]ボタンを押して表示されるビデオ信号方式選択メニューから選択します。 • 「オート」にすると自動的にビデオ信号を設定します。	オート
アスペクト比	映像のアスペクト比を設定します。	接続信号による
初期化	「映像」メニューのうち、「入力信号」を除くすべての調整値を初期値に戻します。 • リモコンの[決定]ボタンを押して実行します。 • 「映像」や「音声」などすべての設定を初期値に戻すときは「全初期化」を実行してください。 ☛ p. 62	−

音声メニュー

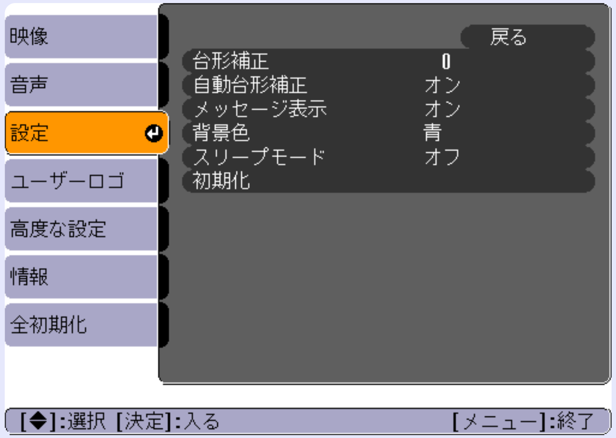


サブメニュー	機能	初期設定値
音量	音量を調節します。	中心値(10)
音声入力	本機背面の音声の入力先(端子)を選択します。 入力信号によって初期設定が異なります(コンピュータ、RGBビデオ、コンポーネントビデオ信号入力時:音声入力1、コンポジットビデオ、S-ビデオ信号入力時:音声入力2)。初期設定と異なる端子から音声を入力するときは、音声の入力先を切り替えてください。	接続信号による
初期化	「音声」メニューの調整値を初期値に戻します。 • リモコンの[決定]ボタンを押して実行します。 • 「映像」や「音声」などすべての設定を初期値に戻すときは「全初期化」を実行してください。 ☛ p. 62	−

ポイント

「音声」メニューの調整値は各映像ソースごとに保存されます。

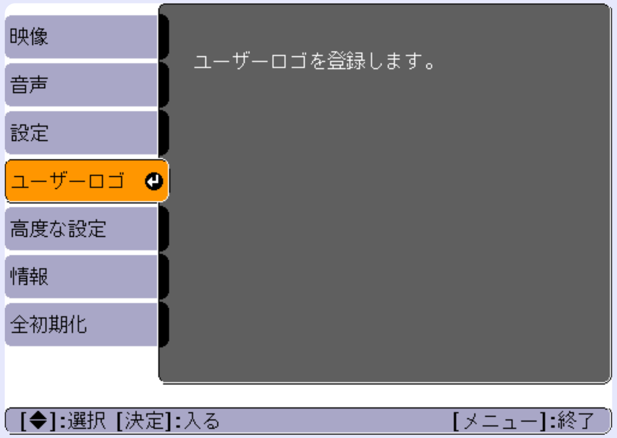
設定メニュー



サブメニュー	機能	初期設定値
台形補正	台形にゆがんだ画面を垂直方向に補正します。 • 台形補正をすると画面が小さくなります。 • 台形補正でムラが目立つ場合は、シャープネスを下げてください。	中心値(0)
自動台形補正	本機を上下に傾けたとき、傾きを検知して自動的に台形補正する機能のオン/オフを設定します。 「高度な設定」の「設置モード」が「フロント」に設定されているときに限り機能が働きます。「フロント」以外に設定されているときは、このメニューは選択できません。	オン
メッセージ表示	次のメッセージ表示をする(オン)か、しない(オフ)かを設定します。 • 映像信号切り替え時の信号名表示 • カラーモード切り替え時のモード名 • 映像信号が入力されていないとき • 未対応信号が入力されているとき • エアーフィルタ交換などのメッセージ	オン
背景色	リモコンの[ミュート]ボタンを押したときや映像信号が入力されていないときなどの画面の状態を「黒」、「青」、「ロゴ」のいずれかで設定します。 • ユーザーロゴを変更するときには、ユーザーロゴの登録が必要です。 ☛ p. 87 • パスワードプロテクトで「ユーザーロゴ保護」を「オン」に設定している場合は、「ロゴ」から「黒」、「青」に変更する、または「黒」、「青」から「ロゴ」に変更することができません。パスワードプロテクトを解除してから操作してください。 ☛ p. 29	青

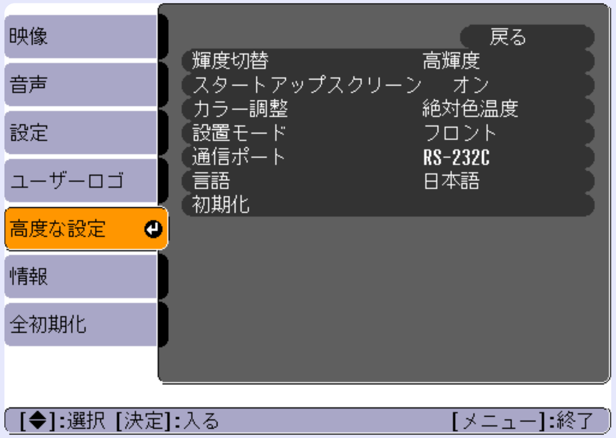
サブメニュー	機能	初期設定値
スリープモード	信号が入力されていないときの省電力機能を設定します。 • 「オン」にしておくと、「映像信号が入力されていません。」の表示状態で30分間操作しないと自動的に投写を終了し、クールダウン後、スリープモード(スタンバイ状態)になります。(電源インジケータはオレンジ色に点灯しています。) • [電源]ボタンを押すと投写を再開します。	オフ
初期化	「設定」メニューの調整値を初期値に戻します。 ただし、「背景色」を「ロゴ」に設定している場合は、パスワードプロテクトの「ユーザーロゴ保護」を「オン」にしていると初期値に戻りません。 • リモコンの[決定]ボタンを押して実行します。 • 「映像」や「音声」などすべての設定を初期値に戻すときは「全初期化」を実行してください。 ☛ p. 62	−

ユーザーロゴメニュー



サブメニュー	機能	初期設定値
実行	ユーザーロゴを登録します。 ☛ p. 87 • リモコンの[決定]ボタンを押して、表示される画面の指示に従って操作します。 • パスワードプロテクトで「ユーザーロゴ保護」を「オン」に設定している場合は登録することができません。パスワードプロテクトを解除してから操作してください。	EPSONロゴ

高度な設定メニュー



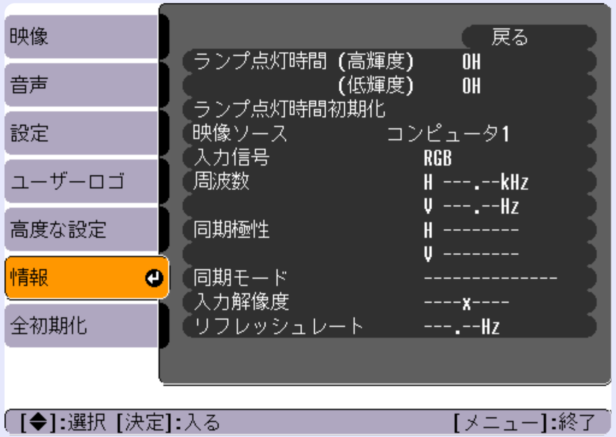
サブメニュー	機能	初期設定値
輝度切替	ランプの明るさを2段階で切り替えることができます。 暗い部屋で投写したり小さなスクリーンに映す場合に、投写映像が明るすぎるときは「低輝度」に設定します。 「低輝度」で使用すると、投写中の消費電力や騒音が減り、ランプ寿命が延びます。	高輝度
スタートアップスクリーン	スタートアップスクリーンの表示の有効・無効の設定を行います。 ユーザーロゴを変更するには、ユーザーロゴの登録が必要です。 ☛ p. 87 パスワードプロテクトで「ユーザーロゴ保護」を「オン」にしている場合は、有効（オン）、無効（オフ）の設定を変更できません。パスワードプロテクトを解除してから操作してください。	オン
カラー調整	映像ソースごとに、映像の絶対色温度▸▸とRGB（赤緑青）の各色の強さを調整します。 • 絶対色温度：白色を赤みがかった色から、青みがかった色まで調整できます。 絶対色温度が低いほど赤みを帯びて落ち着いた色調になります。 絶対色温度が高いほど青みを帯びてすがすがしい色調になります。 リモコンの[決定]ボタンを押して表示されるカラー調整メニューで設定します。 • RGB　：リモコンの[決定]ボタンを押して表示されるカラー定義メニューでR（赤）、G（緑）、B（青）の項目を選択し、それぞれ設定します。 設定は画面の状態を見ながら調整してください。 （「映像」→「カラーモード」の調整値を「sRGB」に設定している場合、本項目は選択できません。）	絶対色温度： 接続信号により異なる

サブメニュー	機能	初期設定値
設置モード	本機の設置状態に合わせます。 • フロント：正面から投写する場合に選択します。 • フロント/天吊り：天吊りして正面から投写する場合に選択します。 • リア　：リアスクリーンへ裏側から投写する場合に選択します。 • リア/天吊り：天吊りしてリアスクリーンへ裏側から投写する場合に選択します。	フロント
通信ポート	コンピュータと通信を行う場合のポートをRS-232CとUSBのどちらを使用するかを設定します。 設定を変更した場合は、一度電源を切って、クールダウン終了後に電源を入れ直します。電源を入れ直した以降、設定が有効になります。	RS-232C
言語	メッセージやメニューに表示する言語を設定します。 • リモコンの[決定]ボタンを押して選択します。	日本語
初期化	「高度な設定」メニューのうち、「言語」を除くすべての調整値を初期値に戻します。 • リモコンの[決定]ボタンを押して実行します。 • 「映像」や「音声」などすべての設定を初期値に戻すときは「全初期化」を実行してください。 ☛ p. 62	-

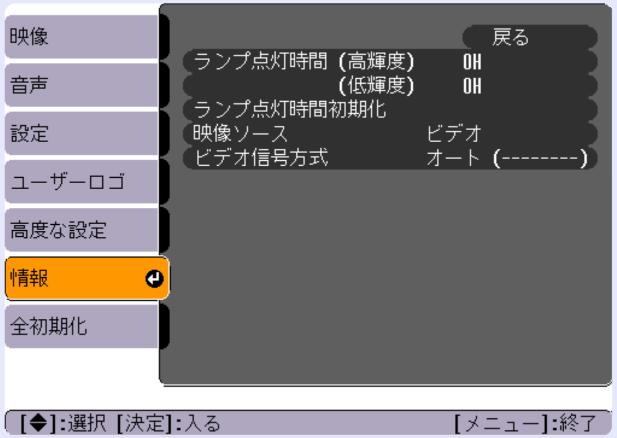
情報メニュー

- 「情報」メニューは投写している入力信号の設定状態を表示します。
- 「ランプ点灯時間」は、0～10時間までは0Hとして表示されます。10時間以上は1時間単位で表示します。

コンピュータ(Analog-RGB)/RGBビデオ/
コンポーネントビデオ(YCbCr、YPbPr)

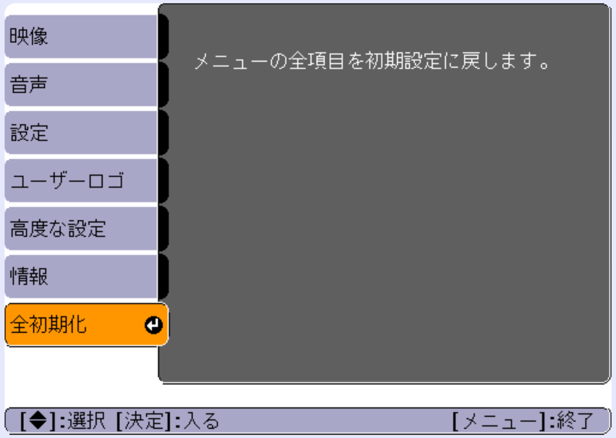


ビデオ(コンポジットビデオ、S-ビデオ)



サブメニュー	機能	初期設定値
ランプ点灯時間	ランプの累積使用時間を「高輝度」、「低輝度」それぞれで表示します。 • ランプ寿命警告時間に達すると、文字が警告色(赤)で表示されます。	0H
ランプ点灯時間初期化	ランプ点灯時間の初期化を行います。実行すると、ランプ点灯時間の累積が初期設定値にクリアされます。	-
映像ソース	現在投写中の入力ソースを表示します。	
入力信号	入力信号の設定を表示します。 (コンポジットビデオ、S-ビデオの場合は表示されません。)	
ビデオ信号方式	ビデオの信号方式を表示します。 (コンピュータ、RGBビデオ、コンポーネントビデオの場合は表示されません。)	-
周波数	水平・垂直走査周波数を表示します。 (コンポジットビデオ、S-ビデオの場合は表示されません。)	-
同期極性	同期の極性を表示します。 (コンポジットビデオ、S-ビデオの場合は表示されません。)	-
同期モード	同期の属性を表示します。 (コンポジットビデオ、S-ビデオの場合は表示されません。)	-
入力解像度	入力解像度を表示します。 (コンポジットビデオ、S-ビデオの場合は表示されません。)	-
リフレッシュレート	リフレッシュレートを表示します。 (コンポジットビデオ、S-ビデオの場合は表示されません。)	-

全初期化メニュー



サブメニュー	機能	初期設定値
実行	環境設定メニューの全項目を初期設定に戻します。 • リモコンの[決定]ボタンを押して実行します。 • 「映像」や「音声」などメニューごとの設定を初期値に戻すときは、それぞれのサブメニューで「初期化」を実行してください。 • 「入力信号」、「ユーザーロゴ」、「ランプ点灯時間」、「言語」は初期値に戻りません。 • 「背景色」を「ロゴ」に設定している場合は、パスワードプロテクトの「ユーザーロゴ保護」を「オン」にしていると初期値に戻りません。	–

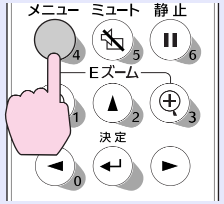
環境設定メニューの操作

環境設定メニューはリモコンで操作します。

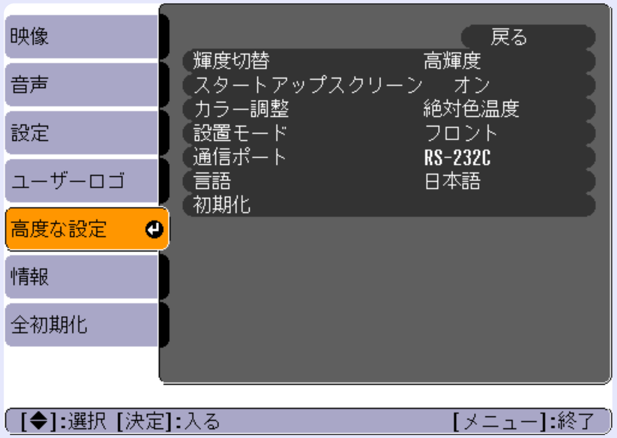
操作

1 **[メニュー]ボタンを押します。**
環境設定メニューが表示されます。

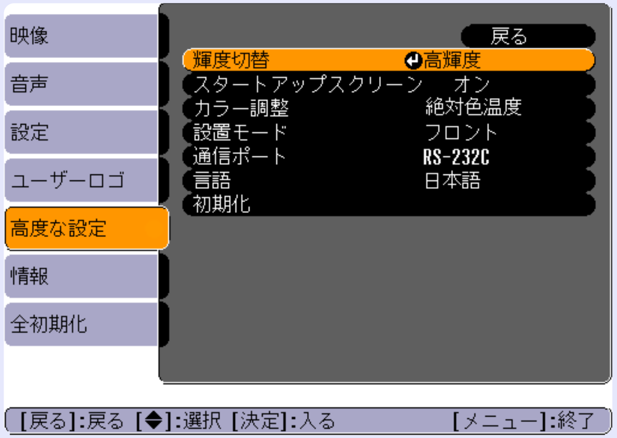
リモコン



2 **項目を選択します。**
[▲][▼]ボタンを押して、設定する項目に移動します。



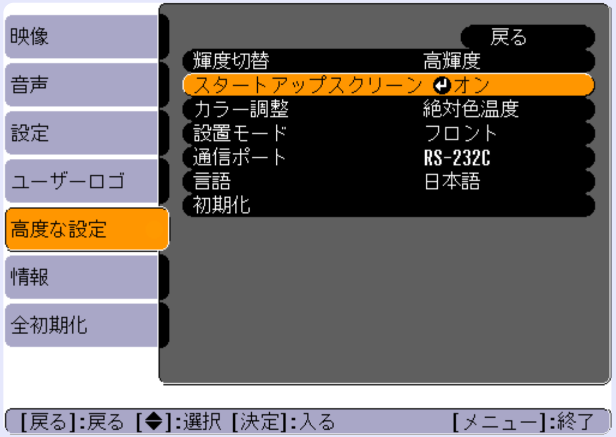
3 **項目を決定します。**
[決定]ボタンを押して項目を決定します。
サブメニューが表示されます。



4 サブ項目を選択します。

[▲][▼]ボタンを押して設定するサブ項目に移動し、[決定]ボタンを押します。

「映像」メニューや「情報」メニューは、投写している入力ソースによって表示される項目が異なります。



5 設定を変更します。

- [▲][▼][◄][►]ボタンを押して設定を変更します。
  ：現在の設定値
  ：現在選択中の項目
- が表示されている項目で[決定]ボタンを押すとその項目の選択画面に移行します。
  選択した後、[決定]ボタンを押して確定するとが緑色に変わります。



6 続いて他の項目も同様に設定します。

[戻る]ボタンを押して1つ前の階層に戻ります。または、「戻る」を選び[決定]ボタンを押します。

7 環境設定メニューを終了します。

[メニュー]ボタンを押します。

ポイント

各設定項目の機能については「機能一覧」をご覧ください。 ☛ p. 50

困ったときに

ここでは、想定されるトラブルと、その対処法などについて説明しています。

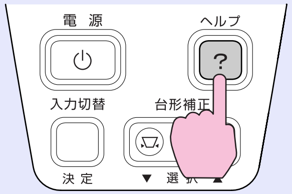
ヘルプの見方

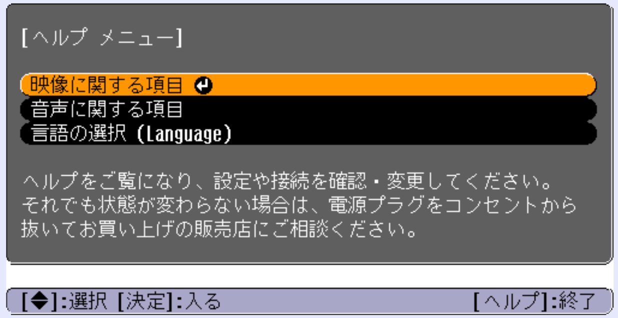
トラブル発生時の解決方法を投写映像に表示できます。質問に答える形式で階層を進んでいきます。

操作

1 **[ヘルプ]ボタンを押します。**
ヘルプメニューが表示されます。

本体





2 **項目を選択します。**
リモコンの場合は、[▲][▼]ボタンを押して項目を選択します。
本体の場合は、[▼選択▲]ボタンが上下キーとして機能します。

リモコン

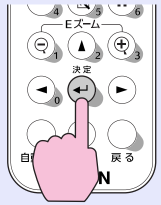


本体



3 **項目を決定します。**
[決定]ボタンを押して項目を決定します。

リモコン

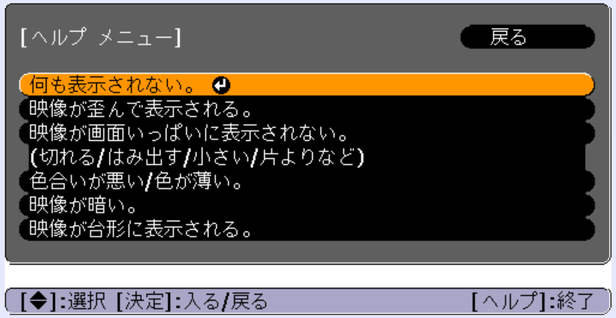


本体



4 手順2、3の操作と同様にさらに詳細な項目を選択・決定します。

[ヘルプ]ボタンを押すと、ヘルプメニューは解除されます。



ポイント

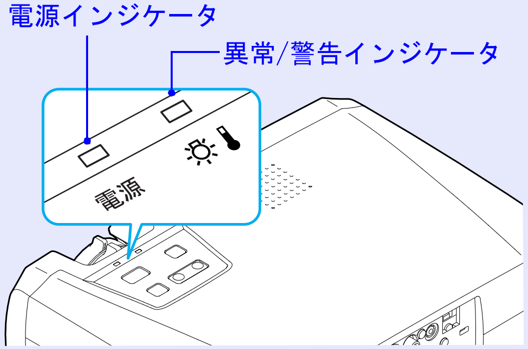
ヘルプ機能を使ってもわからないときは、「故障かなと思ったら」(☛ p. 68)をご覧ください。

故障かなと思ったら

故障かな？と思ったら、まず本体のインジケータをご覧になり下記の「インジケータの見方」で本機の状態をご確認ください。
インジケータをご覧になってもわからないときは、「インジケータを見てもわからないとき」を参照してください。 ☛ p. 71

インジケータの見方

本機には、次の２種類のインジケータがあり本機の状態を知らせています。



インジケータの状態とその対処方法については、次表を参照してください。
インジケータがすべて消灯している場合は、電源ケーブルが正しく接続されていないか、または電気が供給されていません。

電源インジケータ

■：点灯　☀：点滅

状態	原　因	処置または状態
オレンジ ■	スタンバイ状態	（異常ではありません。） ［電源］ボタンを押すと投写を開始します。 電源を切って終了する場合は、この状態でコンセントから電源プラグを抜いてください。
オレンジ ☀	クールダウン中	（異常ではありません。） そのまましばらくお待ちください。 • クールダウン▸▸の時間は約20秒間です。 • クールダウン中は、［電源］ボタンを押しても無効となります。クールダウンが終了し、オレンジ色の点灯に変わってから、もう一度操作してください。

■：点灯　■：点滅

状態	原　因	処置または状態
緑色 ■	投写中	(異常ではありません。)
緑色 ■	ウォームアップ中	(異常ではありません。) そのまましばらくお待ちください。 ウォームアップの時間は約40秒です。 ウォームアップ終了後、緑色の点灯に変わります。

(異常/警告)インジケータ

■：点灯　■：点滅

状態	原　因	処置または状態
赤色 ■	内部高温異常 (オーバーヒート)	ランプが自動的に消灯し、投写できなくなります。約5分間は、そのままの状態で待ちます。約5分後、電源プラグを抜いて、次の2点を確認して改善します。 • エアーフィルタ・排気口がふさがれていないか、壁際に設置されていないか確認してください。 ☛ p. 15 • エアーフィルタが目詰まりしている場合は、掃除または交換をしてください。 ☛ p. 80, 86 電源プラグを差し直すと、状態が復帰します。[電源]ボタンを押して電源を入れ直します。 上記の改善を行っても、繰り返しオーバーヒート状態になったり、電源を入れ直したときにインジケータが異常を示したときは、ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはエプソンサービスコールセンターに修理を依頼してください。 ☛ p. 104
赤色 ■ (0.5秒間隔)	ランプ異常 ランプ点灯失敗	ランプを取り出し、ランプが割れていないか確認します。 ☛ p. 83 割れていなければ再セットします。その後、電源プラグを差し、リモコンまたは本体の[電源]ボタンを押して電源を入れます。それでも直らないときは、ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはエプソンサービスコールセンターに修理を依頼してください。 ☛ p. 104
		ランプが割れている場合は、お買い上げの販売店またはエプソンサービスコールセンターにランプ交換を依頼してください。(交換しないと映像を投写することはできません。) ☛ p. 104
		ランプやランプカバーが確実に取り付けられているか確認してください。ランプおよびランプカバーが確実に取り付けられていない場合は、ランプが点灯しません。
赤色 ■ (1秒間隔)	内部異常 ファン異常 センサ異常	ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはエプソンサービスコールセンターに修理を依頼してください。 ☛ p. 104

■：点灯　■：点滅

状態	原　因	処置または状態
オレンジ色 ■	高速冷却中	（異常ではありません。ただし、さらに高温になると投写を自動的に停止させます。） • エアーフィルタ・排気口がふさがれていないか、壁際に設置されていないか確認してください。 ☛ p. 15 • エアーフィルタが目詰まりしている場合は、掃除または交換をしてください。 ☛ p. 80, 86

ポイント

- インジケータは異常を示してないのに、投写映像が異常のときは、次ページの「インジケータを見てもわからないとき」をご覧ください。
- 各インジケータがこの表にない状態のときは、販売店またはインフォメーションセンターにお問い合わせください。

インジケータを見てもわからないとき

まず、下記をご覧になりどのトラブルに該当するかを確認し、参照先で詳細な内容をご覧ください。

映像に関するトラブル

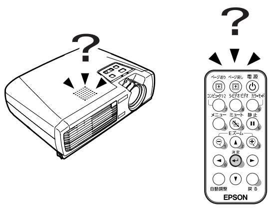
- 映像が表示されない ☛ p. 72
  投写を開始しない・真っ黒の映像になる・青い映像になる など...
- 自動的に投写が消える ☛ p. 72
- 「この信号は本プロジェクターでは受けられません。」と表示される ☛ p. 73
- 「映像信号が入力されていません。」と表示される ☛ p. 73
- ぼやける、ピントが合わない ☛ p. 74
- ノイズが入る、乱れる ☛ p. 74
  ノイズが入る・乱れる・市松模様のようにモノクロのチェックになるなど...
- 切れる(大きい)、小さい ☛ p. 75
  映像の一部分しか投写されないなど...
- 色合いが違う ☛ p. 76
  全体が赤紫がかっている･緑色がかっている･モノクロになる・色がくすむなど...
  (コンピュータのモニターや液晶画面とは色の再現性が異なるため、プロジェクターでの投写映像とモニターでの表示の色合いは必ずしも一致しませんが、異常ではありません。)
- 暗い ☛ p. 77
- 外部モニターに表示されない ☛ p. 77

投写開始時のトラブル

- 電源が入らない ☛ p. 77

その他のトラブル

- 音が出ない・小さすぎる ☛ p. 78
- リモコンで操作できない ☛ p. 78
- メッセージやメニューが日本語で表示されない ☛ p. 78



映像に関するトラブル

■ 映像が表示されない

確認	対処法
[電源]ボタンを押しましたか？	[電源]ボタンを押して電源を入れます。
インジケータがすべて消灯していませんか？	電源ケーブルが正しく接続されていないか、または電気が供給されていません。 本機に電源ケーブルを正しく接続してください。 ☛ p. 31 または、電気が供給されるようにブレーカなどを確認してください。
ミュートの状態になっていませんか？	リモコンの[ミュート]ボタンを押してミュートを解除します。 ☛ p. 45
「メッセージ表示」を「オフ」にしていませんか？	環境設定メニューの「メッセージ表示」を「オフ」に設定しているときは、「オン」に設定して、メッセージを表示させてください。メッセージが表示されたときは、それぞれの項目を参照してください。 ☛「設定」→「メッセージ表示」 p. 56
環境設定メニューの設定で間違っているものはありませんか？	全初期化してみてください。 ☛ p. 62
入力映像そのものが真っ黒になっていませんか？ コンピュータ投写時のみ	スクリーンセーバーなどで入力映像が真っ黒になっていることがあります。
映像の信号形式の設定は合っていますか？ ビデオ機器投写時のみ	コンポジットビデオ、S-ビデオを接続している場合は、環境設定メニューの「ビデオ信号方式」でビデオ信号方式を選択してください。 ☛「映像」→「ビデオ信号方式」 p. 54

■ 自動的に投写が消える

確認	対処法
「スリープモード」を「オン」にしていませんか？	環境設定メニューの「スリープモード」を「オン」に設定した場合、映像信号が入らない状態で約30分間操作しないと、ランプが自動的に消灯します。このとき電源インジケータはオレンジ色に点灯しています。[電源]ボタンを押して電源を入れます。「スリープモード」を働かせないときは設定を「オフ」にしてください。 ☛「設定」→「スリープモード」 p. 57

■「この信号は本プロジェクターでは受けられません。」と表示される

確認	対処法
映像の信号形式の設定は合っていますか？	[コンピュータ1/コンポーネントビデオ1]端子、または[コンピュータ2/コンポーネントビデオ2]端子からの信号を投写している場合は、環境設定メニューの「入力信号」で接続している機器の信号に合った信号方式に設定してください。 ☛「映像」→「入力信号」 p. 51, 54 コンポジットビデオ、S-ビデオを接続している場合は、環境設定メニューの「ビデオ信号方式」でビデオ信号方式を選択してください。 ☛「映像」→「ビデオ信号方式」 p. 54
映像信号の周波数や解像度が対応するモードですか？ コンピュータ投写時のみ	環境設定メニューの「周波数」で入力中の映像信号を確認してください。 ☛「情報」→「周波数」 p. 61 コンピュータの解像度・周波数を確認してください。 ☛ コンピュータの『取扱説明書』など

■「映像信号が入力されていません。」と表示される

確認	対処法
ケーブル類が正しく接続されていますか？	投写に必要なケーブルが確実に接続されているか確認します。 ☛ p. 16～p. 24
接続した映像入力端子を正しく選択していますか？	リモコンの[コンピュータ1/2]、[S-ビデオ/ビデオ]、または本体の[入力切替]ボタンを押して映像を切り替えます。 ☛ p. 33
接続されたコンピュータやビデオ機器の電源は入っていますか？	それぞれの機器の電源を入れます。 ☛ p. 32
プロジェクターに映像信号が出力されていますか？ ノートや液晶一体型タイプのコンピュータ投写時のみ	映像信号がコンピュータの液晶モニターや付属モニターにだけ出力されている場合は、外部にも出力するように切り替えてください。外部に映像信号を出力すると、液晶モニターや付属モニターに映像が出せないモデルもあります。 ☛ コンピュータの『取扱説明書』「外部出力のしかた」や「外付けモニターへ出力のしかた」など 本機やコンピュータの電源を入れた状態で接続を行うと、コンピュータの映像信号を外部に切り替える[Fn]（ファンクションキー）が使えないことがあります。本機およびコンピュータの電源を入れ直してください。 ☛ p. 32, 34

■ ぼやける、ピントが合わない

確認	対処法
ピントは正しく調整されていますか？	本体のフォーカスリングを回してピントを合わせます。 ☛ p. 36
レンズカバーが付いたままではありませんか？	レンズカバーを外します。 ☛ p. 31
投写距離は最適ですか？	投写距離の推奨範囲は89cm～1050cmです。この範囲で設置してください。 ☛ p. 15
台形補正の調整値を大きくしていませんか？	投写角度を小さくして台形補正の調整値を小さくしてください。 ☛ p. 39
レンズが結露していませんか？	寒い部屋から急に暖かい部屋に持ち込んだり、急激に暖房したときなど、レンズの表面が結露して映像がぼやけることがあります。ご使用になる1時間くらい前に使用する部屋に設置するようにします。結露してしまったときは、電源を切ってしばらくそのまま放置してください。

■ ノイズが入る、乱れる

確認	対処法
映像の信号形式の設定は合っていますか？	[コンピュータ1/コンポーネントビデオ1]端子、または[コンピュータ2/コンポーネントビデオ2]端子に接続している場合は、環境設定メニューの「入力信号」で機器の信号に合った信号方式に設定してください。 ☛「映像」→「入力信号」 p. 51, 54 コンポジットビデオ▸▸、S-ビデオ▸▸を接続している場合は、環境設定メニューの「ビデオ信号方式」でビデオ信号方式を選択してください。 ☛「映像」→「ビデオ信号方式」 p. 54
ケーブル類は正しく接続されていますか？	投写に必要なケーブルが確実に接続されているか確認します。 ☛ p. 16～p. 24
ケーブルを延長していませんか？	ケーブルを延長するとノイズが入ることがあります。同梱のケーブルを使用して確認してください。
解像度の選択は正しいですか？ コンピュータ投写時のみ	本機に対応する信号にコンピュータを合わせてください。 ☛ 対応解像度一覧 p. 96 ☛ コンピュータの『取扱説明書』など
「同期▸▸・トラッキング▸▸」は正しく調整されていますか？ コンピュータ、RGBビデオ投写時のみ	リモコンの[自動調整]ボタンを押して、自動調整を行います。自動調整を行っても調整しきれない場合は、環境設定メニューの「同期」、「トラッキング」で調整することもできます。 ☛ p. 41, 42

■ 切れる(大きい)、小さい

確認	対処法
「アスペクト比」の設定は正しいですか？	環境設定メニューの「アスペクト比」を「4：3」に設定してください。 ☛「映像」→「アスペクト比」 p. 54
Eズーム機能で拡大されたままになっていませんか？	リモコンの[戻る]ボタンを押してEズーム機能を解除します。 ☛ p. 48
「表示位置」は正しく調整されていますか？	コンピュータのアナログRGB映像やRGBビデオ映像投写時は、リモコンの[自動調整]ボタンを押して、自動調整を行います。 自動調整を行っても調整しきれない場合は、環境設定メニューの「表示位置」で調整することもできます。 コンピュータのアナログRGB映像やRGBビデオ映像以外の信号を投写時は、環境設定メニューの「表示位置」で調整します。 ☛「映像」→「表示位置」 p. 50, 53
デュアルディスプレイの設定をしていませんか？ コンピュータ投写時のみ	接続しているコンピュータのコントロールパネルの「画面のプロパティ」で、デュアルディスプレイの設定をしていると、プロジェクターでコンピュータ画面の映像が半分くらいしか表示できません。コンピュータ画面の映像をすべて表示する場合は、デュアルディスプレイの設定を解除します。 ☛ コンピュータのビデオドライバの『取扱説明書』
解像度の選択は正しいですか？ コンピュータ投写時のみ	本機に対応する信号にコンピュータを合わせてください。 ☛ 対応解像度一覧 p. 96 ☛ コンピュータの『取扱説明書』など

■ 色合いが違う

確認	対処法
入力信号の設定が接続機器の信号と合っていますか？	コンピュータやRGBビデオを[コンピュータ1/コンポーネントビデオ1]端子、または[コンピュータ2/コンポーネントビデオ2]端子に接続しているのに、環境設定メニューの「入力信号」で「コンピュータ1」、または「コンピュータ2」以外に設定していると、映像が赤紫色がかって表示されます。 コンポーネントビデオ機器を[コンピュータ1/コンポーネントビデオ1]端子、または[コンピュータ2/コンポーネントビデオ2]端子に接続しているのに、環境設定メニューの「入力信号」で「コンピュータ1」、または「コンピュータ2」に設定していると映像が緑色がかって表示されます。 接続機器の信号に合った信号方式を設定してください。 ☛「映像」→「入力信号」 p. 51, 54 コンポジットビデオ、S-ビデオを接続している場合は、環境設定メニューの「ビデオ信号方式」でビデオ信号方式を選択してください。 ☛「映像」→「ビデオ信号方式」 p. 54
映像の明るさは正しく調整されていますか？	環境設定メニューの「明るさ」を調整してください。 ☛「映像」→「明るさ」 p. 50, 53
ケーブル類が正しく接続されていますか？	投写に必要なケーブルが確実に接続されているか確認します。 ☛ p. 16〜p. 24
コントラストは正しく調整されていますか？	環境設定メニューの「コントラスト」を調整してください。 ☛「映像」→「コントラスト」 p. 50, 53
適切なカラー調整に設定されていますか？	環境設定メニューの「カラー調整」を調整してください。 ☛「高度な設定」→「カラー調整」 p. 59
色の濃さ、色合いは正しく調整されていますか？ ビデオ機器投写時のみ	環境設定メニューの「色の濃さ」、「色合い」を調整してください。 ☛「映像」→「色の濃さ」、「色合い」 p. 53

■ 暗い

確認	対処法
映像の明るさや輝度は正しく設定されていますか？	環境設定メニューの「明るさ」や「輝度切替」を設定してください。 ☛「映像」→「明るさ」 p. 50, 53 ☛「高度な設定」→「輝度切替」 p. 59
コントラスト▸▸は正しく調整されていますか？	環境設定メニューの「コントラスト」を調整してください。 ☛「映像」→「コントラスト」 p. 50, 53
ランプの寿命ではありませんか？	ランプの寿命が近づくと映像が暗くなったり、色合いが悪くなります。新しいランプと交換してください。 ☛ p. 83

■ 外部モニターに表示されない

確認	対処法
[コンピュータ1/コンポーネントビデオ1]端子以外から入力している映像を表示させようとしていませんか？	外部モニターに表示できる映像は[コンピュータ1/コンポーネントビデオ1]端子からの信号のみです。 ☛ p. 21

投写開始時のトラブル

■ 電源が入らない

確認	対処法
[電源]ボタンを押しましたか？	[電源]ボタンを押して電源を入れます。
インジケータがすべて消灯していませんか？	電源ケーブルが正しく接続されていないか、または電気が供給されていません。 本機に電源ケーブルを正しく接続してください。 ☛ p. 31 または、電気が供給されるようにブレーカなどを確認してください。
電源ケーブルを触ると、インジケータが点いたり消えたりしませんか？	電源ケーブルが接触不良を起こしているか、電源ケーブルが故障している可能性があります。電源ケーブルを差し直してください。それでも直らないときは、ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはエプソンサービスコールセンターに修理を依頼してください。 ☛ p. 104

その他のトラブル

■ 音が出ない･小さすぎる

確認	対処法
音声入力は正しく接続されていますか？	正しい[音声入力]端子にケーブルを接続しているか確認してください。 ☛ p. 25
音量調整が最小になっていませんか？	聞こえる音量に調整してください。 ☛「音声」→「音量」 p. 55
ミュートの状態になっていませんか？	リモコンの[ミュート]ボタンを押してミュートを解除します。 ☛ p. 45
「音声入力」は正しく設定されていますか？	環境設定メニューの「音声入力」を音声入力している端子に設定してください。 ☛「音声」→「音声入力」 p. 55

■ リモコンで操作できない

確認	対処法
リモコンの発光部をプロジェクターのリモコン受光部に向けて操作していますか？	リモコン受光部に向かって操作してください。 操作可能範囲は、左右約30°、上下約15°です。 ☛ p. 13
プロジェクターから離れすぎていませんか？	操作可能距離は、約6mです。 ☛ p. 13
リモコン受光部に直射日光や蛍光灯の強い光が当たっていませんか？	強い光などがリモコン受光部にあたる場所を避けて設置してください。
電池が消耗していたり、電池の向きを間違えてセットしていませんか？	新しい電池を正しい向きにセットします。 ☛ p. 81
電池の絶縁テープは引き抜いてありますか？	絶縁テープを引き抜きます。 ☛ p. 12

■ メッセージやメニューが日本語で表示されない

確認	対処法
「言語」の設定は正しいですか？	[ヘルプ]ボタンを押して、ヘルプメニューの3項目を選択して言語の設定を変更してください。 ☛ p. 66

付　録

ここでは、メンテナンス方法など、本機を今後も長くご使用いただくための補足的な知識について説明しています。

ここでは、お手入れの方法や消耗品の交換などのメンテナンスについて説明します。

各部の掃除

本体が汚れたり、映像の映りが悪くなったら掃除をしてください。

注意 掃除を行う前に、別冊の『安全にお使いいただくために/サポートとサービスのご案内』を必ずお読みください。

本体の掃除

本体の汚れは柔らかい布で軽くふき取ってください。
汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤に布をひたしてかたくしぼり、軽くふき取ってから乾いた布で仕上げてください。

注意 ワックス、ベンジン、シンナーなど揮発性のものは使わないでください。ケースが変質したり、塗料がはげたりすることがあります。

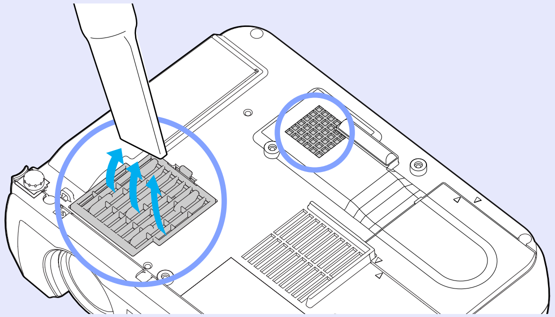
レンズの掃除

レンズの汚れは、市販のブローワーやレンズクリーニングペーパーなどで軽くふき取ってください。

注意 レンズの表面は傷つきやすいので、かたいものでこすったり、たたいたりしないでください。

エアーフィルタ・吸気口の掃除

エアーフィルタや吸気口にホコリがたまっていたり、「内部温度が上昇しています。エアーフィルタの掃除や交換を行い、室温を下げてください。」とメッセージが表示されたときは、エアーフィルタや吸気口の掃除を行ってください。
エアーフィルタや吸気口にホコリがたまると空気の通りが悪くなり、内部の温度が上昇して故障の原因となります。
エアーフィルタのホコリは、本機を裏返して、掃除機で吸い取ってください。



ポイント

- エアーフィルタが破れたり、掃除を行ってもメッセージが表示される場合は交換時期です。同梱のエアーフィルタ、または新しいエアーフィルタに交換してください。☛『付録　オプション品一覧』p. 90
- 交換用ランプにも、交換用エアーフィルタが同梱されています。ランプ交換時に、一緒に交換してください。

消耗品の交換

ここでは、リモコンの電池、ランプ、エアーフィルタの交換方法について説明します。

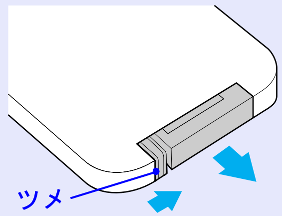
電池の交換方法

交換用の電池は、次のものをご用意ください。
リチウム電池CR2025×1個

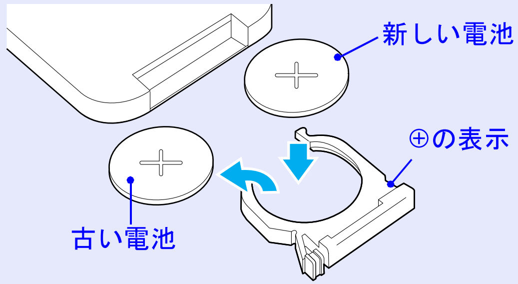
注意　電池を取り扱う前に、別冊の『安全にお使いいただくために/サポートとサービスのご案内』を必ずお読みください。

操作

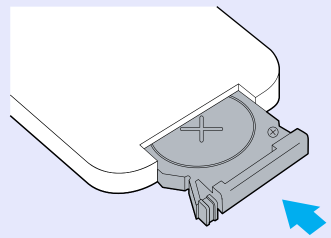
1 電池ホルダを外します。
電池ホルダのツメを内側へ押さえたまま引き出します。



2 古い電池を取り出し、新しい電池と交換します。
新しい電池は、電池ホルダ内の(＋)の表示を確認し、向きを間違えないようにセットします。



3 電池ホルダを取り付けます。
カチッと音がするまでホルダを押し込みます。



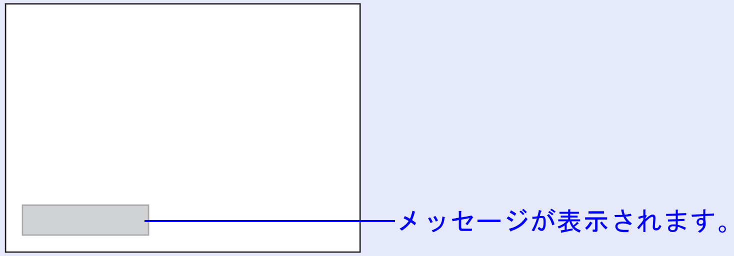
ポイント

使用済みの電池は、地域の廃棄ルールに従って廃棄してください。

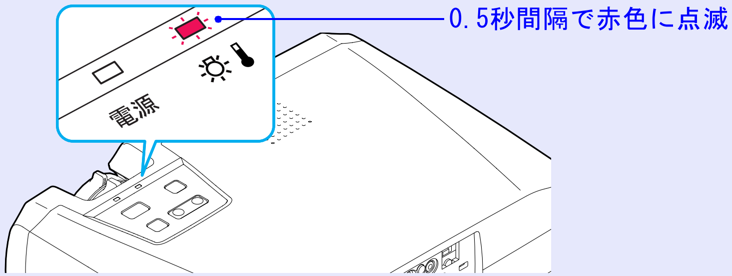
ランプの交換時期

次の場合は、ランプを交換してください。

- 投写を開始したときに「投写ランプを交換してください。」とメッセージが表示されたとき



- ☼🌡インジケータが0.5秒間隔で赤色に点滅したとき



- 初期に比べ、明るさや画質が落ちたとき

ポイント

- 交換メッセージは、初期の明るさや画質を維持するため、次の時間で表示されます。
  - ・高輝度で使い続けた場合：約1900時間
  - ・低輝度で使い続けた場合：約2900時間

☛「輝度切替」p. 59

- 交換時期を超えて使い続けると、ランプが破裂する可能性が一段と高くなります。ランプ交換のメッセージが表示されたら、まだランプが点灯する状態でも、すみやかに新しいランプと交換してください。
- 個々のランプの特性や使用条件などで、メッセージが表示される前に暗くなったり、点灯しなくなるものがあります。交換用ランプをあらかじめ準備しておくことをお奨めします。
- 交換用ランプはお近くのエプソン商品取扱店および、エプソン OAサプライ株式会社フリーダイヤル(0120)251-528でお買い求めください。

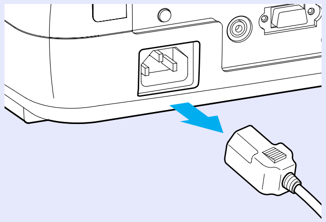
ランプの交換方法

注意
- ランプが点灯しなくなり交換する場合は、ランプが割れている可能性があります。
  本機を天吊りで使用していてランプ交換を行う場合は、ランプが割れていることを想定し、ランプカバーをそっと取り外してください。
- ランプが十分冷えてからランプカバーを外してください。
  ランプが十分冷えるには、クールダウン後、約1時間必要です。

操作

1 本機の電源を切り、クールダウンが終了してから、電源ケーブルを外します。

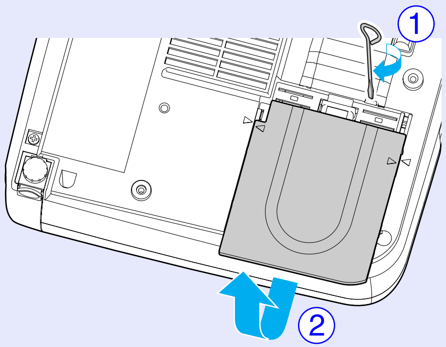
クールダウンの時間は、約20秒です。



2 ランプが十分冷えてから、本体底面のランプカバーを外します。

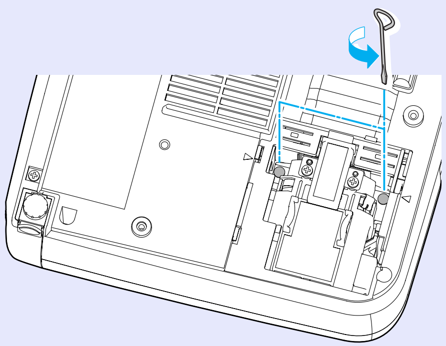
ランプが十分冷えるには、クールダウン後約1時間必要です。

本体とランプカバーの間のくぼみに、交換用ランプに同梱のドライバ、または一のドライバを差し込んで回転させるとロックが外れます。ランプカバーの▷印と本体の◁印が合う位置までまっすぐスライドさせて、持ち上げて取り外します。



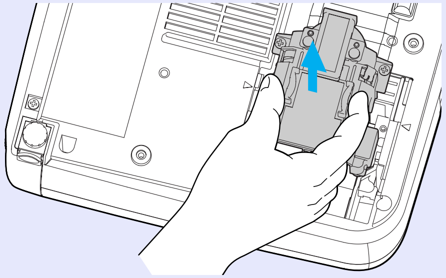
3 ランプ固定ねじ２本をゆるめます。

ランプを本体に固定しているランプ固定ねじ2本を、交換用ランプに同梱のドライバ、または一のドライバでゆるめます。



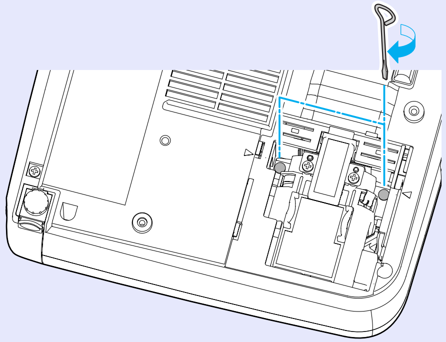
4 古いランプを取り外します。

下図のように、ランプをつまんで引き上げます。
ランプが割れている場合は、お買い上げの販売店、またはエプソンサービスコールセンターにランプ交換を依頼してください。☛p. 104



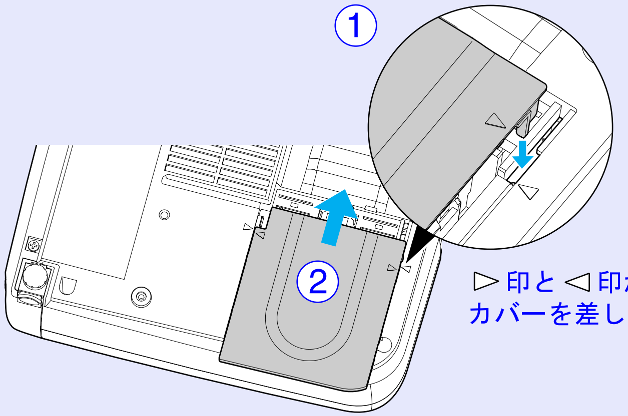
5 新しいランプを取り付けます。

ランプを収納部の形に合う向きにして、カチッと音がするまで押し込み、ランプ固定ねじ2本を締めます。



6 ランプカバーを取り付けます。

カバーの ▷印と本体の ◁印が合うように、カバーのツメを本体に差し込み、カチッと音がするまでスライドさせます。



ポイント

- ランプは確実に取り付けてください。本機は安全のため、ランプカバーを外すと自動的にランプが消灯します。ランプやランプカバーの取り付けが不十分だとランプが点灯しません。
- 交換用ランプに交換用エアーフィルタが同梱されています。ランプ交換時に合わせて交換してください。☛p. 86
- 使用済みのランプは、地域の廃棄ルールに従って廃棄してください。

ランプ点灯時間の初期化

本機にはランプ点灯時間のカウンタが内蔵されており、カウンタの累積が一定時間に達すると、ランプ交換の表示を行います。したがって、ランプ交換を実施した後は、環境設定メニューでランプ点灯時間のカウンタを初期化する必要があります。

ポイント

ランプ点灯時間の初期化は、ランプを交換したとき以外は行わないでください。ランプの交換時期が正しく表示されなくなります。

操作

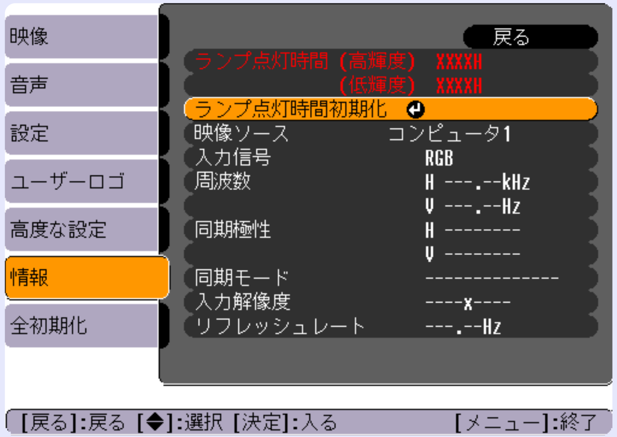
1 電源ケーブルを接続し、本機の電源を入れ、[メニュー]ボタンを押します。

環境設定メニューが表示されます。

リモコン

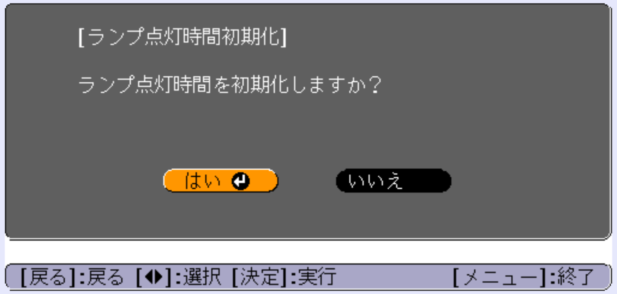


2 「情報」→「ランプ点灯時間初期化」の項目を選択し、[決定]ボタンを押します。



3 「はい」を選択して、[決定]ボタンを押します。

ランプ点灯時間が初期化されます。



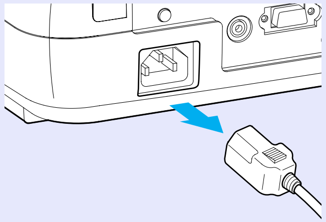
エアーフィルタの交換方法

本機を天吊り設置している状態でもエアーフィルタの交換ができます。

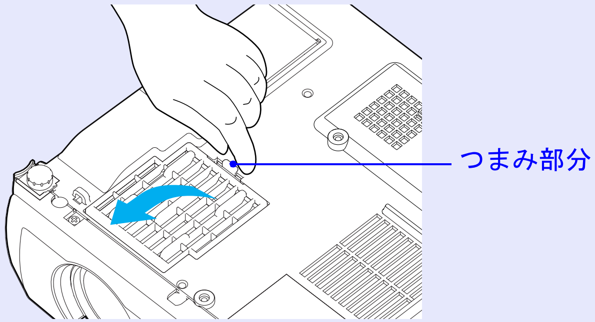
操作

1 本機の電源を切り、クールダウンが終了してから電源ケーブルを外します。

クールダウンの時間は、約20秒間です。

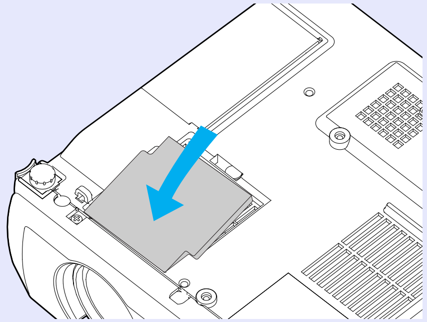


2 エアーフィルタカバーのつまみ部分のくぼみに指をかけて持ち上げ、エアーフィルタカバーを外します。



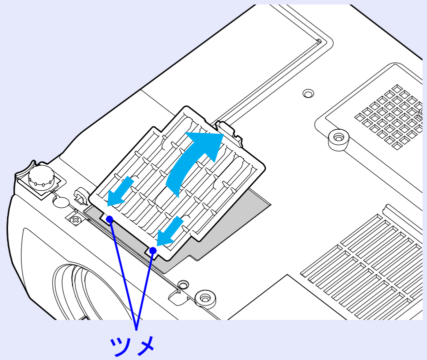
3 新しいエアーフィルタに交換します。

古いエアーフィルタを取り出し、新しいエアーフィルタをセットします。吸気口に、エアーフィルタをずれがないように置いてください。



4 エアーフィルタカバーを取り付けます。

ツメの部分を先に入れてから反対側をカチッと音がするまで押し込みます。



ポイント

使用済みのエアーフィルタは、地域の廃棄ルールに従って廃棄してください。

ユーザーロゴの登録

現在表示している映像をユーザーロゴとして登録します。

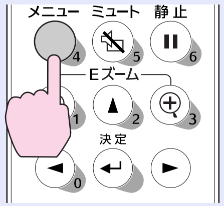
ポイント

ユーザーロゴの登録を実行すると、現在登録されているユーザーロゴは消去されます。

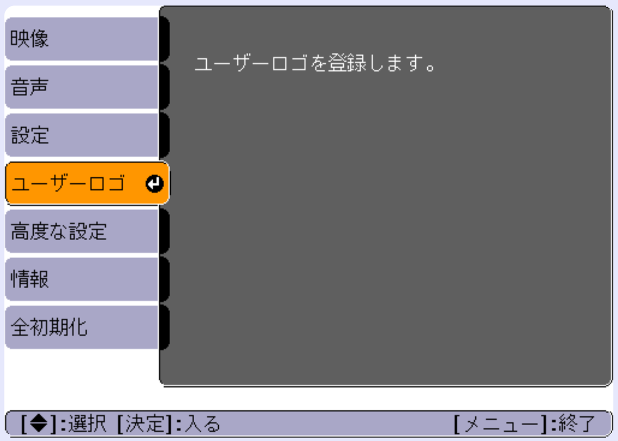
操作

1 ユーザーロゴとして登録したい映像を投写し、[メニュー]ボタンを押します。

リモコン



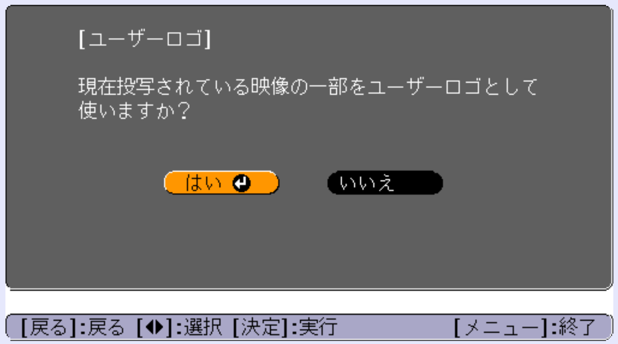
2 「ユーザーロゴ」メニューを選択し、[決定] ボタンを押します。



ポイント

- 「パスワードプロテクト」で「ユーザーロゴ保護」を「オン」に設定している場合はメッセージが表示され、登録することができません。パスワードプロテクトを解除してから操作してください。
☛p. 29
- 台形補正やEズームを行っている場合、「ユーザーロゴ」を選択すると、台形補正やEズームは解除されます。

3 サブメニューで「はい」を選択し、[決定] ボタンを押します。

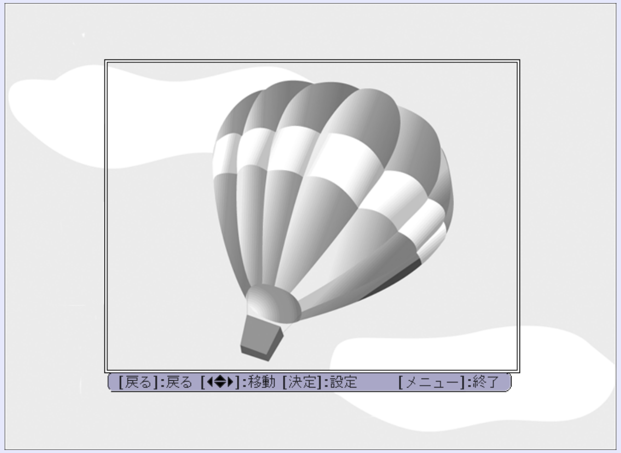


ポイント

[決定]ボタンを押すと、映像信号の解像度のまま表示されるため、本機のパネル画素数以外の解像度の映像を投写している場合とビデオ映像を投写しているときは、表示サイズが変わります。

4 登録する映像と選択枠が表示されるので、使う位置を選択します。

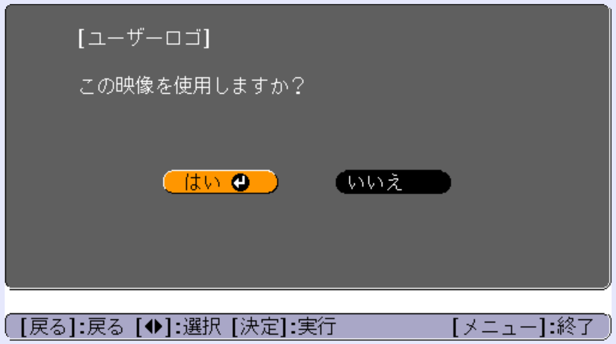
[▲][▼][◄][►]ボタンを押して、ユーザーロゴとして使いたい部分を選択したのち、[決定]ボタンを押します。



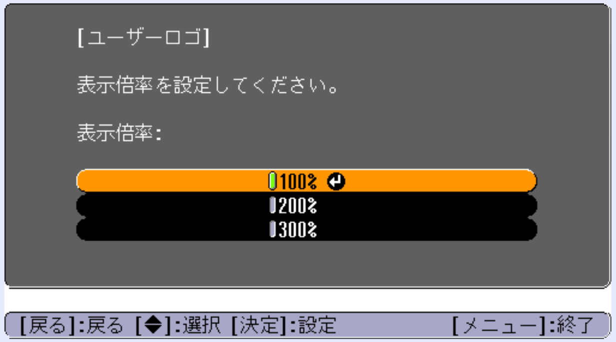
ポイント

登録できるサイズは480×360ドットです。

5 使用確認画面で「はい」を選択し、[決定] ボタンを押します。

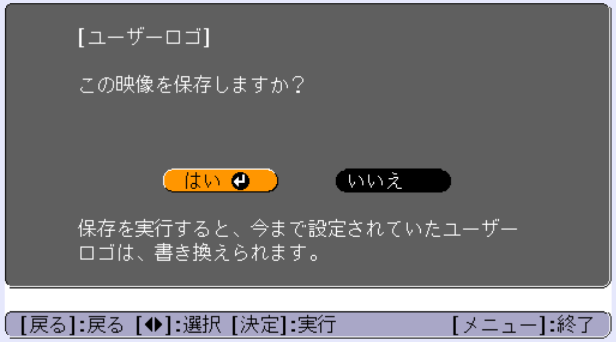


6 表示倍率設定画面で倍率を選択し、[決定] ボタンを押します。



7 保存確認画面で「はい」を選択し、[決定] ボタンを押します。

映像が保存されます。保存が終了すると「ユーザーロゴの設定が終了しました。」とメッセージが表示されます。



ポイント

- 保存にはしばらく時間がかかります（約15秒）。保存している間は、プロジェクターや接続している機器を操作しないでください。故障の原因になります。
- ユーザーロゴは一度登録すると、初期設定状態には戻せません。

オプション品一覧

下記のオプション品を用意しています。用途に合わせてお買い求めください。これらのオプション品類は2003年7月現在のものです。予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

ソフトキャリングケース　ELPKS16 ハンドキャリングするときに使います。
交換用ランプ　ELPLP27 (交換用ランプとエアーフィルタ1枚) 使用済みランプと交換します。
エアーフィルタセット　ELPAF05 (エアーフィルタセット5枚) 製品同梱のエアーフィルタと同等品です。
60型スクリーンELPSC07 **80型スクリーンELPSC08** **100型スクリーンELPSC10** 携帯型ロールスクリーンです。(アスペクト比4：3)
携帯スクリーン(50型)　ELPSC06 持ち運びに便利なコンパクトスクリーンです。(アスペクト比4：3)
コンピュータケーブル　ELPKC02 **(ミニD-Sub 15pin/ミニD-Sub 15pin用1.8m)** 製品同梱のコンピュータケーブルと同等品です。
コンピュータケーブルELPKC09 **(ミニD-Sub 15pin/ミニD-Sub 15pin用 3m)** **コンピュータケーブルELPKC10** **(ミニD-Sub 15pin/ミニD-Sub 15pin用 20m)** 製品同梱のコンピュータケーブルでは短いときの延長ケーブルです。

コンピュータケーブル　ELPKC11 **(ミニD-Sub 15pin/5BNC用 1.8m)** 5BNC端子のコンピュータと接続するときに使います。
D端子ケーブル　ELPKC22 **(ミニD-Sub 15pin/D端子用 3m)** BSデジタル放送チューナと接続するときに使います。
コンポーネントビデオケーブル　ELPKC19 **(ミニD-Sub 15pin/RCAオス×3用 3m)** コンポーネントビデオを投写するときに使います。
天吊り金具※　ELPMB12 本機を天井に取り付けるときに使います。
天井プレート※ELPFC03 **パイプ370 (370mm シルバー)※　ELPFP04** **パイプ570 (570mm シルバー)※　ELPFP05** **パイプ770 (770mm シルバー)※　ELPFP06** 高天井および化粧天井に取り付けるときに使います。
マルチメディアビューワーELPDC04 書籍やOHP原稿、スライドを投写するときなどに使います。

※天吊り設置には特別な技術が必要となります。お買い求めいただいた販売店にご相談ください。

本書で使用している用語で、本文中に説明がなかったもの、あるいは難しいものを簡単に説明します。詳細に付いては市販の書籍などを利用してください。

5BNC	アナログのビデオ信号を入力するコネクタです。
HDTV	High-Definition Televisionの略で、次の条件を満たす高精細なシステムに適用されます。 • 垂直解像度750p、1125i以上(pはプログレッシブ走査、iはインタレース走査) • 画面のアスペクト比は16：9 • ドルビーデジタル音声の受信、再生(あるいは出力)
SDTV	Standard Definition Televisionの略で、HDTVの条件を満たさない標準テレビジョン放送のことです。
S-ビデオ	ビデオの明るさ信号や色信号を分けて、高画質を追求する信号です。 Y(輝度信号)C(色信号)の2つの独立した信号からできている映像をいいます。
sRGB	各画像装置が表現する色をコンピュータのオペレーティングシステム(OS)やインターネットで簡単に扱うために規定された色空間に関する国際標準です。
SVGA	IBM PC/AT互換機(DOS/V機)の信号で横800ドット×縦600ドットのものを呼びます。
SXGA	IBM PC/AT互換機(DOS/V機)の信号で横1,280ドット×縦1,024ドットのものを呼びます。
USB	Universal Serial Busの略で、比較的低速な周辺機器とパソコン間を接続するためのインターフェイスです。
UXGA	IBM PC/AT互換機(DOS/V機)の信号で横1,600ドット×縦1,200ドットのものを呼びます。
VGA	IBM PC/AT互換機(DOS/V機)の信号で横640ドット×縦480ドットのものを呼びます。
XGA	IBM PC/AT互換機(DOS/V機)の信号で横1,024ドット×縦768ドットのものを呼びます。
YCbCr	現行のテレビ(NTSC方式)で、カラーバー信号波の中にある伝送用信号のことです。Y(輝度信号)CbCr(クロマ(色)信号)で表します。
YPbPr	ハイビジョンで、カラーバー信号波の中にある伝送用信号のことです。Y(輝度信号)PbPr(色差信号)で表します。
アスペクト比	画面の縦と横の比率をいいます。縦横の比率が16：9と横長になっている画面をワイド画面といいます。標準画面のアスペクト比は4：3です。
インタレース	1つの画面を表示するときに情報を横方向に細かい線に分け、左から右へ、上から下へ順次表示させます。このとき偶数線分と奇数線分を交互に表示する方法をいいます。
クールダウン	投写によって高温になっているランプを冷却する処理です。[電源]ボタンを押し電源を切ると自動的に行われます。クールダウン中は電源プラグを抜かないでください。クールダウンが正しく行われなくなるため、ランプや本機内部に高熱がこもったままとなり、ランプの寿命が短くなったり本機の故障の原因となります。
コントラスト	色の明暗の差を強くしたり弱くしたりすることにより、文字や絵がハッキリ見えたり、ソフトに見えたりすることです。この調整をコントラストの調整といいます。
コンポーネントビデオ	ビデオの明るさ信号や色信号を分けて、高画質を追求する信号です。 ハイビジョンにおいて、Y(輝度信号)Pb、Pr(色差信号)の３つの独立した信号からできている映像をいいます。

コンポジットビデオ	ビデオの明るさ信号や色信号を混合した、一般的な家庭用ビデオ信号(NTSC、PAL、SECAM)です。 カラーバー信号の中の伝送用信号Y(輝度信号)とクロマ(色)信号を重ねて1つの信号にしています。
スクイーズモード	16:9の横長ワイド映像を水平方向に圧縮して、4:3の映像としてビデオソフトに収録する方法です。 本機のスクイーズモードを使って投写すると、元の16:9のワイド映像に戻ります。
絶対色温度	光を発する物体の温度をいいます。絶対色温度が高いと青みがかった色合いになり、絶対色温度が低いと赤みがかった色合いになります。
同期(Sync.)	コンピュータやRGBビデオから出力される信号は、ある決まった周波数で出力されます。その周波数にプロジェクターの周波数を合わせないときれいな映像になりません。信号の位相(山のずれ)を合わせることを同期を合わせるといいます。同期が合っていないと投写映像にちらつき、ぼやけ、横方向のノイズが出ます。
盗難防止用ロック	プロジェクターのケースに備え付けられた穴に市販の盗難防止用ケーブルを通し、机や柱などに固定できます。 KENSINGTON社製のマイクロセーバーセキュリティシステムに対応しています。日本正規輸入代理店の連絡先は、以下のとおりです。 七陽商事株式会社　情報機器事業部 〒103-0007東京都中央区日本橋浜町2-55-7(ナナヨービル) Tel:03-3663-7787 Fax:03-3669-2367
トラッキング	コンピュータやRGBビデオから出力される信号は、ある決まった周波数で出力されます。その周波数にプロジェクターの周波数を合わせないときれいな映像になりません。信号の周波数(山の数)を合わせることをトラッキングを合わせるといいます。トラッキングが合っていないと投写映像に幅広の縦の縞模様が出ます。
ドルビーデジタル	ドルビー研究所で開発されたサウンド方式です。通常のステレオは2つのスピーカを用いた2ch方式ですが、ドルビーデジタルは、それにセンタースピーカ、リア2chスピーカ、サブウーファを追加した6ch(5.1ch)方式となっています。
プログレッシブ	1つの画面を作り出す情報を上から下へ順次走らせて一画面を構成する方式をいいます。
リサイズ表示	本機のパネルサイズの画素数より多い、あるいは少ない解像度のコンピュータからの映像も表示サイズいっぱいになるように投写する機能です。
リフレッシュレート	ディスプレイの発光体は、その明るさと色をごく短時間保持します。そのため発光体をリフレッシュするために1秒間に何度も画像を走査しなければなりません。その速度をリフレッシュレートと呼び、ヘルツ(Hz)で設定します。

コマンドリスト

電源オンコマンドを送信すると、電源がオンになり、プロジェクターがコマンド受付け可能になると‘3Ah’（：）を返します。
また、コマンド処理が終了した場合も、‘：’が返信されます。
‘：’を待つことで、プロジェクターのReady/Busyを知ることができます。
異常終了の場合は、エラーメッセージを出力した後に‘：’を送信します。

項　目		コマンド
電源のオン/オフ	オン	PWR ON
	オフ	PWR OFF
信号切り替え	コンピュータ1	SOURCE 11
	コンポーネントビデオ1（YCbCr）	SOURCE 14
	コンポーネントビデオ1（YPbPr）	SOURCE 15
	コンピュータ2	SOURCE 21
	コンポーネントビデオ2（YCbCr）	SOURCE 24
	コンポーネントビデオ2（YPbPr）	SOURCE 25
	ビデオ	SOURCE 41
	S-ビデオ	SOURCE 42
ミュート機能のオン/オフ	オン	MUTE ON
	オフ	MUTE OFF
ミュート機能の切り替え	黒	MSEL 00
	青	MSEL 01
	ユーザーロゴ	MSEL 02

通信プロトコル

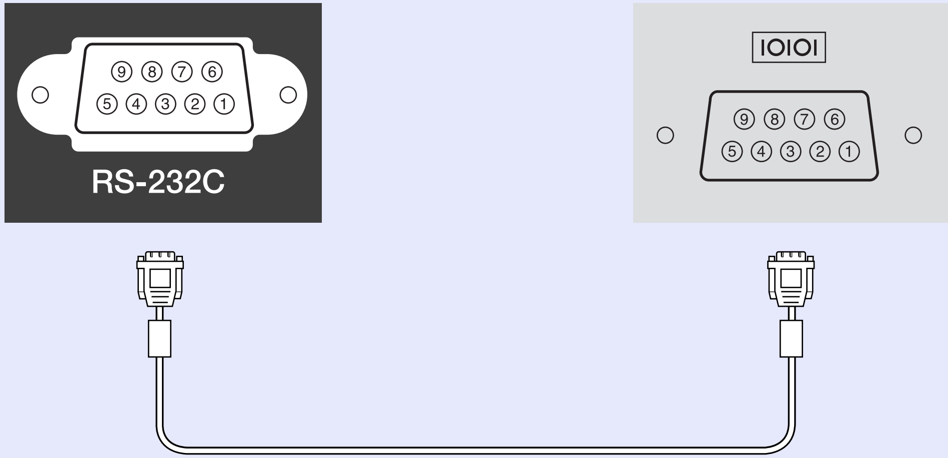
- ボーレート基準速度　：9600 bps
- データ長　：8 bits
- パリティ　：なし
- ストップビット　：1 bit
- フロー制御　：なし
- コネクタ形状　：D-Sub 9pin（オス）
- プロジェクター入力端子名　：RS-232C

ケーブル配線

シリアル接続

- コネクタ形状　　　　　　　: D-Sub 9pin(オス)
- プロジェクター入力端子名　: RS-232C

〈プロジェクター側〉　〈コンピュータ側〉



〈プロジェクター側〉		（PCシリアルケーブル）	〈コンピュータ側〉	
GND	5	―――	5	GND
RD	2	◀―――	3	TD
TD	3	―――▶	2	RD
DTR	4	―――▶	6	DSR
DSR	6	◀―――	4	DTR

信号名	機　能
GND	各信号線の接地
TD	送信データ
RD	受信データ
DSR	データセットレディ
DTR	データターミナルレディ

USB接続

- コネクタ形状　　　　　　　: USB(Bタイプ)

〈プロジェクター側〉　〈コンピュータ側〉



USB通信の準備

USB接続による通信で本機をESC/VP21コマンドで制御するには、事前に次の準備が必要です。

注意 クールダウンが終了する前に電源ケーブルを抜いた場合は、通信ポートの変更は行われません。

操作

1. エプソン販売のホームページ「I Love EPSON」からお使いのコンピュータに「USB通信ドライバ(USB-COM Driver)」をダウンロードします。
   URLは下記のとおりです。
   http://www.i-love-epson.co.jp/products/download/elp/menu.htm

2. お使いのコンピュータにその USB 通信ドライバをインストールします。
   ダウンロード画面の注意事項をお読みください。

3. 本機の環境設定メニューで「高度な設定」→「通信ポート」を「USB」に設定します。

4. 本機の電源を切ります。

5. クールダウン▸▸が終了後、本機の電源を入れます。
   本機の電源を入れ直した以降、USB接続による通信が可能になります。

対応解像度一覧

コンピュータ/RGBビデオ

信号	リフレッシュレート▸▸ (Hz)	解像度 (ドット)	リサイズ表示▸▸時使用画素数(ドット)	
			EMP-74	EMP-54
PC98		640×400	1024×640	800×500
VGA▸▸	60	640×480	1024×768	800×600
VGACGA		640×400	1024×640	800×500
VGAEGA		640×350	1024×560	800×438
VGA text		720×400	1024×568	800×444
		720×350	1024×498	800×388
VESA	60/72/75/85, iMac※	640×480	1024×768	800×600
SVGA▸▸	56/60/72/75/85, iMac※	800×600	1024×768	800×600
XGA▸▸	43i/60/70/75/85, iMac※	1024×768	1024×768	800×600
SXGA▸▸	70/75/85	1152×864	1024×768	800×600
SXGA	60/75/85	1280×960	1024×768	800×600
SXGA	43i/60/75/85	1280×1024	960×768	750×600
UXGA▸▸	48i/60	1600×1200	1024×768	−
MAC13"		640×480	1024×768	800×600
MAC16"		832×624	1024×768	800×600
MAC19"		1024×768	1024×768	800×600
MAC19"	60	1024×768	1024×768	800×600
MAC21"		1152×870	1016×768	794×600
SDTV▸▸ (625i)	50	720×540	1024×768	800×600
SDTV (525i)	60	640×480	1024×768	800×600
SDTV (525p)	60	640×480	1024×768	800×600
HDTV▸▸ (750p)	60	1280×720	1024×576	800×450
HDTV (1125i)	60	1920×1080	1024×576	800×450

※ VGA出力ポートが装着されていない機種には接続できません。

上記以外の信号が入力された場合でも、映像を投写できることがあります。ただし、この場合、機能が制限されることがあります。

コンポーネントビデオ

信号	リフレッシュレート▸▸ (Hz)	使用画素数(ドット)			
		EMP-74		EMP-54	
		アスペクト比▸▸4:3	アスペクト比16:9	アスペクト比4:3	アスペクト比16:9
SDTV▸▸ (525i) (D1)	60	1024×768	1024×576	800×600	800×450
SDTV (625i)	50	1024×768	1024×576	800×600	800×450
SDTV (525p) (D2)	60	1024×768	1024×576	800×600	800×450
HDTV▸▸ (750p) 16:9 (D4)	60	1024×768	1024×576	800×600	800×450
HDTV (1125i) 16:9 (D3)	60	1024×768	1024×576	800×600	800×450

コンポジットビデオ/S-ビデオ

信号	リフレッシュレート▸▸ (Hz)	使用画素数(ドット)			
		EMP-74		EMP-54	
		アスペクト比▸▸4:3	アスペクト比16:9	アスペクト比4:3	アスペクト比16:9
TV (NTSC)	60	1024×768	1024×576	800×600	800×450
TV (PAL, SECAM)	60	1024×768	1024×576	800×600	800×450

商品名	マルチメディアプロジェクター　EMP-74/54		
外形寸法	幅315×高さ87×奥行き240mm(フット含まず)		
パネルサイズ	0.7型		
表示方式	ポリシリコンTFTアクティブマトリクス		
画素数	EMP-74：XGA　786,432個(横1024×縦768ドット)×3 EMP-54：SVGA　480,000個(横800×縦600ドット)×3		
フォーカス調整	手動		
ズーム調整	手動(約1：1.2)		
ランプ(光源)	UHEランプ　定格200W　型番：ELPLP27		
音声最大出力	1Wモノラル		
スピーカ	1個		
電源	100-240V±10%､50/60Hz AC 定格消費電力280W　スタンバイ時3W (100V時)		
使用温度範囲	+5℃～+35℃(結露しないこと)		
保存温度範囲	-10℃～+60℃(結露しないこと)		
質量	約2.9kg		
接続端子	モニター出力端子：	1系統	ミニD-Sub 15pin(メス)黒色
	コンピュータ1/ コンポーネントビデオ1端子：	1系統	ミニD-Sub 15pin(メス)青色
	コンピュータ2/ コンポーネントビデオ2端子：	1系統	ミニD-Sub 15pin(メス)青色
	S-ビデオ端子：	1系統	ミニDIN 4pin 1
	ビデオ端子：	1系統	RCAピンジャック
	USB端子※：	1系統	USBコネクタ(Bタイプ)
	音声入力1端子：	1系統	ステレオミニジャック
	音声入力2端子：	1系統	ステレオミニジャック
	RS-232C端子：	1系統	D-Sub 9pin(オス)

※USB 1.1に対応しています。
USB端子は､USB対応機器すべての動作を保証するものではありません。

Safety

USA
UL1950 3rd Edition
Canada
CSA C22.2 No.950-95 (cUL)
European Community
The Low Voltage Directive (73/23/EEC)
IEC60950 2nd Edition, +Amd.1, +Amd.2, +Amd.3, +Amd.4

EMC

USA
FCC 47CFR Part15B Class B (DoC)
Canada
ICES-003 Class B

European Community
The EMC Directive (89/336/EEC)
EN55022, 1998 Class B
EN55024, 1998
IEC61000-4-2, IEC61000-4-3, IEC61000-4-4, IEC61000-4-5,
IEC61000-4-6, IEC61000-4-8, IEC61000-4-11, IEC61000-3-2, IEC61000-3-3

Australia/New Zealand
AS/NZS 3548:1995, A1:1997, A2:1997 Class B
CISPR Pub.22:1993, A1:1995, A2:1996, Class B

DECLARATION of CONFORMITY
According to 47CFR, Part 2 and 15
Class B Personal Computers and Peripherals; and/or
CPU Boards and Power Supplies used with Class B
Personal Computers

We	:EPSON AMERICA, INC.
Located at	:3840 Kilroy Airport Way
	MS: 3-13
	Long Beach, CA 90806
Tel	:562-290-5254

Declare under sole responsibility that the product identified herein, complies with 47CFR Part 2 and 15 of the FCC rules as a Class B digital device. Each product marketed, is identical to the representative unit tested and found to be compliant with the standards. Records maintained continue to reflect the equipment being produced can be expected to be within the variation accepted, due to quantity production and testing on a statistical basis as required by 47CFR 2.909. Operation is subject to the following two conditions : (1) this device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Trade Name	:EPSON
Type of Product	:Projector
Model	:EMP-74/54

FCC Compliance Statement
For United States Users

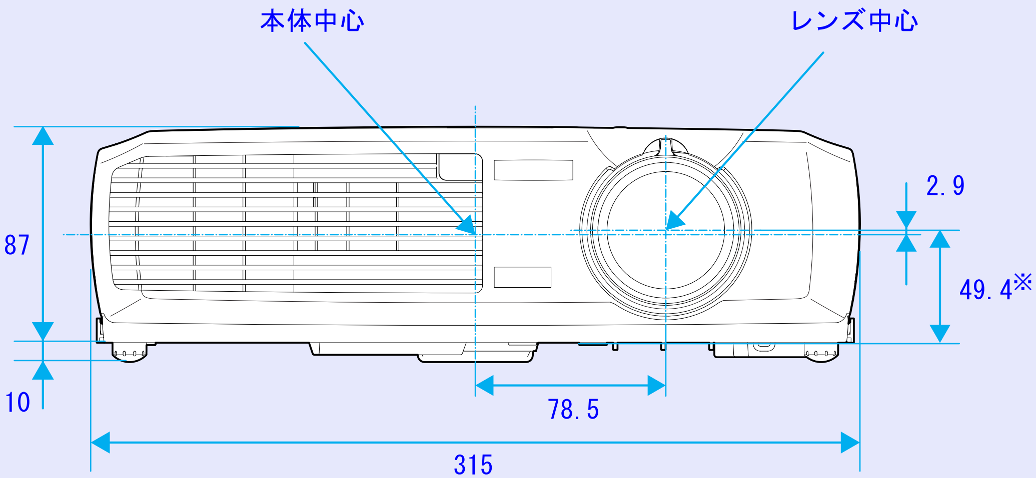
This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio or television reception. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause interference to radio and television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures.

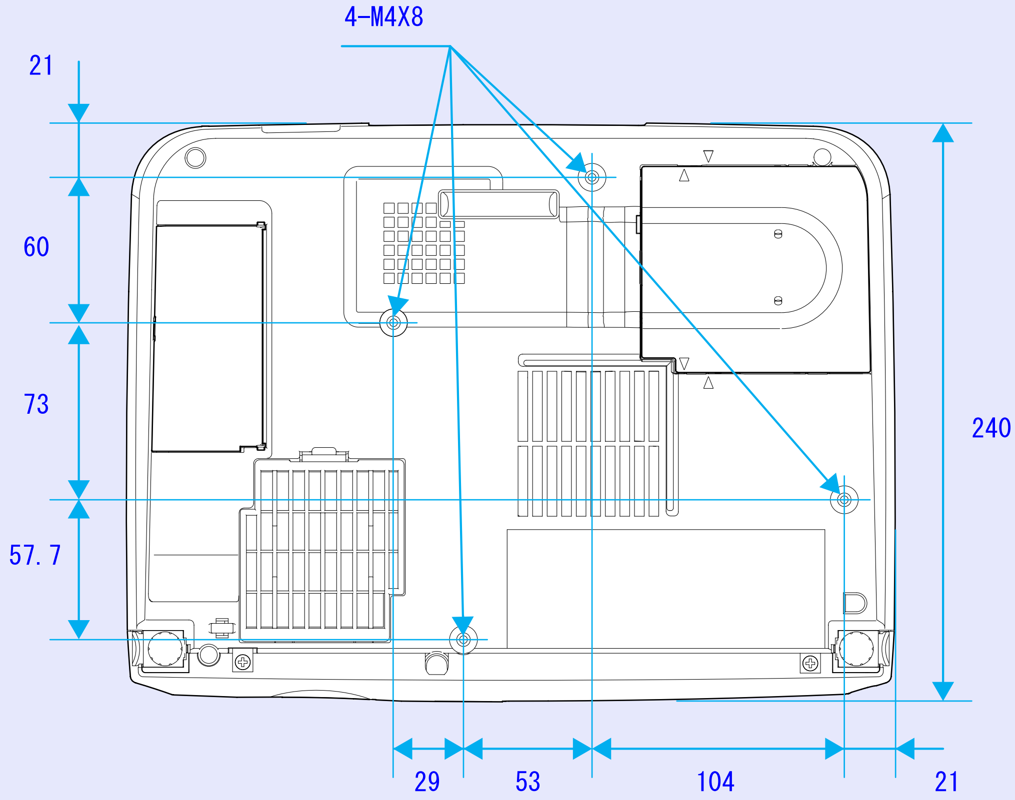
- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

WARNING

The connection of a non-shielded equipment interface cable to this equipment will invalidate the FCC Certification or Declaration of this device and may cause interference levels which exceed the limits established by the FCC for this equipment. It is the responsibility of the user to obtain and use a shielded equipment interface cable with this device. If this equipment has more than one interface connector, do not leave cables connected to unused interfaces. Changes or modifications not expressly approved by the manufacturer could void the user's authority to operate the equipment.

外形寸法図





※レンズ中心から天吊固定部までの寸法

単位：mm

数字・アルファベット

ア

カ

サ

タ

ナ

ハ

マ

ヤ

ラ

ワ

ご注意

(1) 本書の内容の一部、または全部を無断で転載することは固くお断りいたします。
(2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
(3) 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、お気付きの点がございましたら、ご連絡くださいますようお願いいたします。
(4) 運用した結果の影響につきましては、(3) 項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
(5) 本製品がお客様により不適当に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者 (裏表紙参照)以外の第三者により、修理、変更されたこと等に起因して生じた損害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
(6) エプソン純正品、およびエプソン品質認定品以外のオプション品または消耗品を装着してトラブルが発生した場合には、責任を負いかねますのでご了承ください。
(7) 本書中のイラストと本体の形状は異なる場合があります。

本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意

電源ケーブルは販売国の電源仕様に基づき同梱されています。本機を販売国以外で使用する際には、事前に使用する国の電源電圧や、コンセントの形状を確認し、その国に合った純正電源ケーブルを現地にてお買い求めください。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

瞬低 (瞬時電圧低下) 基準について

本装置は、落雷などによる電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置などを使用されることをお薦めします。

電源高調波について

この装置は、高調波抑制対策ガイドラインに適合しております。

商標について

IBM、DOS/V は、International Business Machines Corp. の商標または登録商標です。
Macintosh 、Mac 、iMac は、Apple Computer, Inc. の登録商標です。
Windows 、Windows NT は米国マイクロソフト社の商標です。
ドルビーはドルビーラボラトリーズの商標です。
EPSON はセイコーエプソン株式会社の登録商標です。
なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

EPSON

●エプソン販売のホームページ「I Love EPSON」http://www.i-love-epson.co.jp
各種製品情報・ドライバ類の提供、サポート案内等のさまざまな情報を満載したエプソンのホームページです。
インターネット FAQ エプソンなら購入後も安心。皆様からのお問い合わせの多い内容をFAQとしてホームページに掲載しております。ぜひご活用ください。
http://www.i-love-epson.co.jp/faq/

●エプソンサービスコールセンター
修理に関するお問い合わせ・出張修理・保守契約のお申し込み先

0570ー004141（全国ナビダイヤル）【受付時間】9:00～17:30 月～金曜日（祝日・弊社指定休日を除く）

*ナビダイヤルはNTTコミュニケーションズ㈱の電話サービスの名称です。
*携帯電話・PHS端末・CATVからはご利用いただけませんので、(042) 582-6888までお電話ください。
*新電電各社をご利用の場合、「0570」をナビダイヤルとして正しく認識しない場合があります。ナビダイヤルが使用できるよう、ご契約の新電電会社へご依頼ください。

●修理品送付・持ち込み依頼先
お買い上げの販売店様へお持ち込みいただくか、下記修理センターまで送付願います。

拠点名	所在地	TEL
札幌修理センター	〒060-0034 札幌市中央区北4条東1-2-3 札幌フコク生命ビル10F エプソンサービス㈱	011-219-2886
松本修理センター	〒390-1243 松本市神林1563エプソンサービス㈱	0263-86-7660
東京修理センター	〒191-0012 東京都日野市日野347 エプソンサービス㈱	042-584-8070
福岡修理センター	〒812-0041 福岡市博多区吉塚8-5-75 初光流通センタービル3F エプソンサービス㈱	092-622-8922
沖縄修理センター	〒900-0027 那覇市山下町5-21 沖縄通関社ビル2F エプソンサービス㈱	098-852-1420

【受付時間】月曜日～金曜日 9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）
*予告なく住所・連絡先等が変更される場合がございますので、ご了承ください。
*修理について詳しくは、エプソンサービス㈱ホームページhttp://www.epson-service.co.jpでご確認ください。

●ドアtoドアサービスに関するお問い合わせ先
ドアtoドアサービスとはお客様のご希望日に、ご指定の場所へ、指定業者が修理品をお引取りにお伺いし、修理完了後弊社からご自宅へお届けするサービスです。＊梱包は業者が行います。
ドアtoドアサービス受付電話 0570ー090ー090（全国ナビダイヤル）【受付時間】月～金曜日9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）
＊ナビダイヤルはNTTコミュニケーションズ㈱の電話サービスの名称です。
＊新電電各社をご利用の場合は、「0570」をナビダイヤルとして正しく認識しない場合があります。ナビダイヤルが使用できるよう、ご契約の新電電会社へご依頼ください。
＊携帯電話・PHS端末・CATVからはナビダイヤルをご利用いただけませんので、下記の電話番号へお問い合わせください。

受付拠点	引き取り地域	TEL	受付拠点	引き取り地域	TEL
札幌修理センター	北海道全域	011-219-2886	福岡修理センター	中四国・九州全域	092-622-8922
松本修理センター	本州（中国地方を除く）	0263-86-9995	沖縄修理センター	沖縄本島全域	098-852-1420

【受付時間】月曜日～金曜日9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）※松本修理センターは365日受付可。
＊平日の17:30～20:00および、土日、祝日、弊社指定休日の9:00～20:00の電話受付は0263-86-9995（365日受付可）にて日通諏訪支店で代行いたします。＊ドアtoドアサービスについて詳しくは、エプソンサービス㈱ホームページhttp://www.epson-service.co.jpでご確認ください。

●プロジェクターインフォメーションセンター　製品に関するご質問・ご相談に電話でお答えします。
0570ー004110（全国ナビダイヤル）【受付時間】月～金曜日9:00～20:00 土曜日10:00～17:00（祝日・弊社指定休日を除く）
*ナビダイヤルはNTTコミュニケーションズ㈱の電話サービスの名称です。
*携帯電話・PHS端末・CATVからはご利用いただけませんので、(0263) 54-5800までお電話ください。
*新電電各社をご利用の場合、「0570」をナビダイヤルとして正しく認識しない場合があります。ナビダイヤルが使用できるよう、ご契約の新電電会社へご依頼ください。

●ショールーム *詳細はホームページでもご確認いただけます。http://www.i-love-epson.co.jp/square/
エプソンスクエア新宿　〒160-8324 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル1F
【開館時間】月曜日～金曜日 9:30～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）
エプソンスクエア御堂筋　〒541-0047 大阪市中央区淡路町3-6-3 NMプラザ御堂筋1F
【開館時間】月曜日～金曜日 9:30～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

● MyEPSON
エプソン製品をご愛用の方も、お持ちでない方も、エプソンに興味をお持ちの方への会員制情報提供サービスです。お客様にピッタリのおすすめ最新情報をお届けしたり、プリンタをもっと楽しくお使いいただくお手伝いをします。製品購入後のユーザー登録もカンタンです。さあ、今すぐアクセスして会員登録しよう。

インターネットでアクセス！ http://myepson.i-love-epson.co.jp/ ▶ カンタンな質問に答えて会員登録。

●消耗品のご購入
お近くのEPSON商品取扱店及びエプソンOAサプライ株式会社 フリーダイヤル0120ー251528 でお買い求めください。

エプソン販売株式会社　〒160-8324 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル24階
セイコーエプソン株式会社　〒392-8502 長野県諏訪市大和3-3-5

72503002